

I 調査の概要

1 調査の目的

市民の生涯学習に関する推進状況、意見、要望、課題等を把握し、市民の悩み、質問、要望等に対して、的確なアドバイスをしたり、生涯学習推進に生かしたりする。

2 調査の実施主体

富岡市生涯学習推進本部

3 調査実施方法

- (1)調査地域 富岡市全域
- (2)調査対象 市内在住の20歳以上の男女個人(600人ずつ)
- (3)標本数 1,200人
- (4)抽出方法 無作為抽出法
- (5)調査方法 区長配布一郵送回収
- (6)調査時期 平成22年6月1日～7月5日

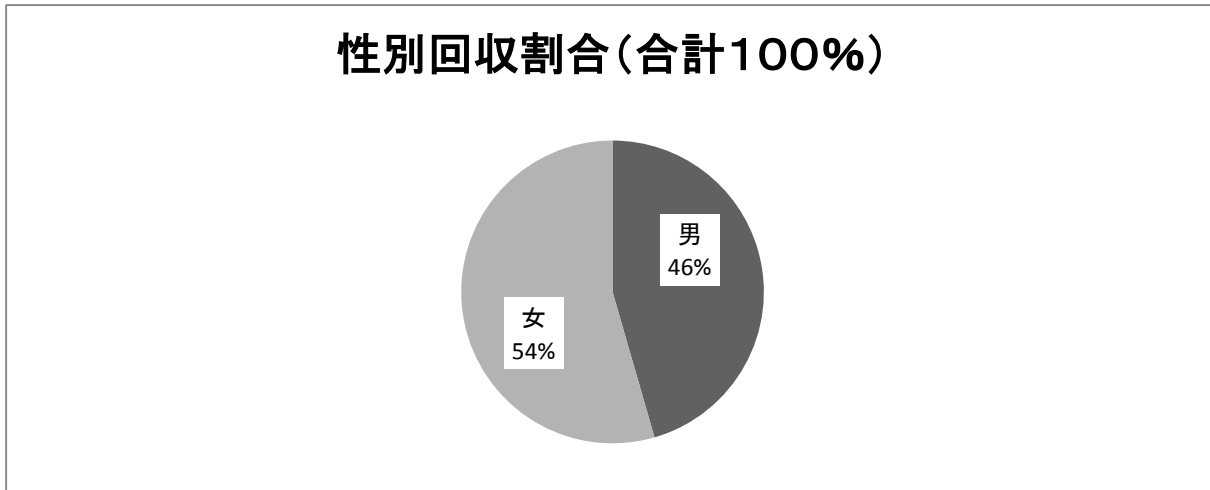
4 調査の内容

- (1)生涯学習という言葉の周知度・理解度
 - ①言葉の周知度
 - ②言葉の理解度
- (2)本市の生涯学習事業の取り組み
 - ①本市が「生涯学習都市宣言」をしたことの周知度
 - ②本市が「富岡市民憲章」を制定したことの周知度
 - ③本市の生涯学習実施事業の周知度
 - ④生涯学習奨励員制度の周知度と意見(自由記述)
- (3)日常生活における生きがい
- (4)生涯学習活動
 - ①生涯学習活動の有無
 - ②生涯学習活動の内容と方法
 - ③生涯学習活動で身に付けた知識・技能の生かし方
 - ④生涯学習活動の満足度
 - ⑤生涯学習活動をしていない理由
- (5)今後の生涯学習活動
 - ①今後の生涯学習活動の意向
 - ②今後の生涯学習活動の内容と方法
 - ③今後の生涯学習活動をする希望の曜日と時間
- (6)生涯学習活動が活発になるための手段
- (7)生涯学習に関する意見・要望・悩み(自由記述)

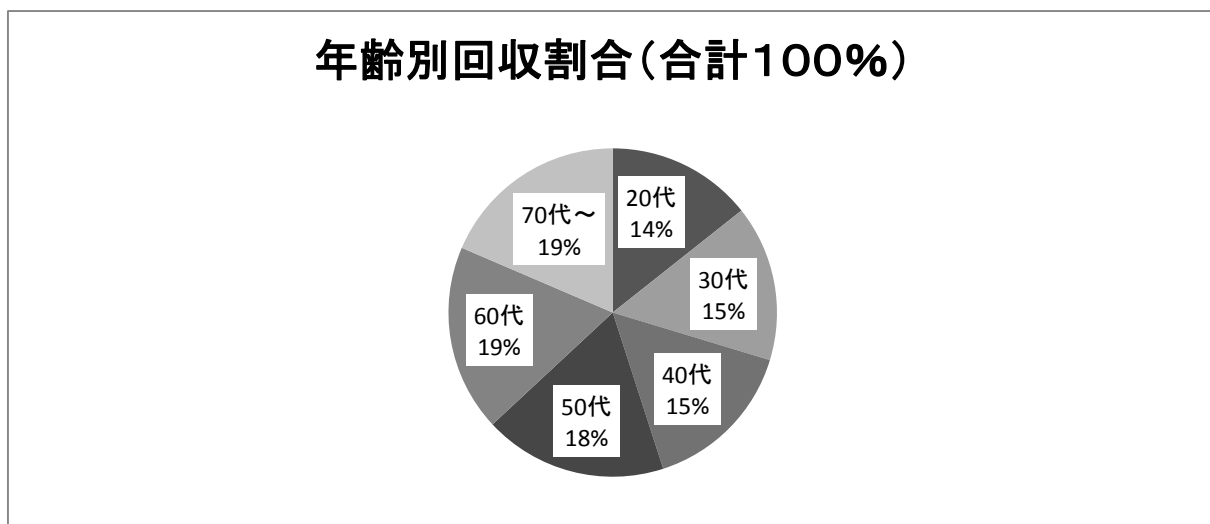
5 回収状況

(1)回収数 593(男女各600人、計1,200人に配布。回収率49.4%)

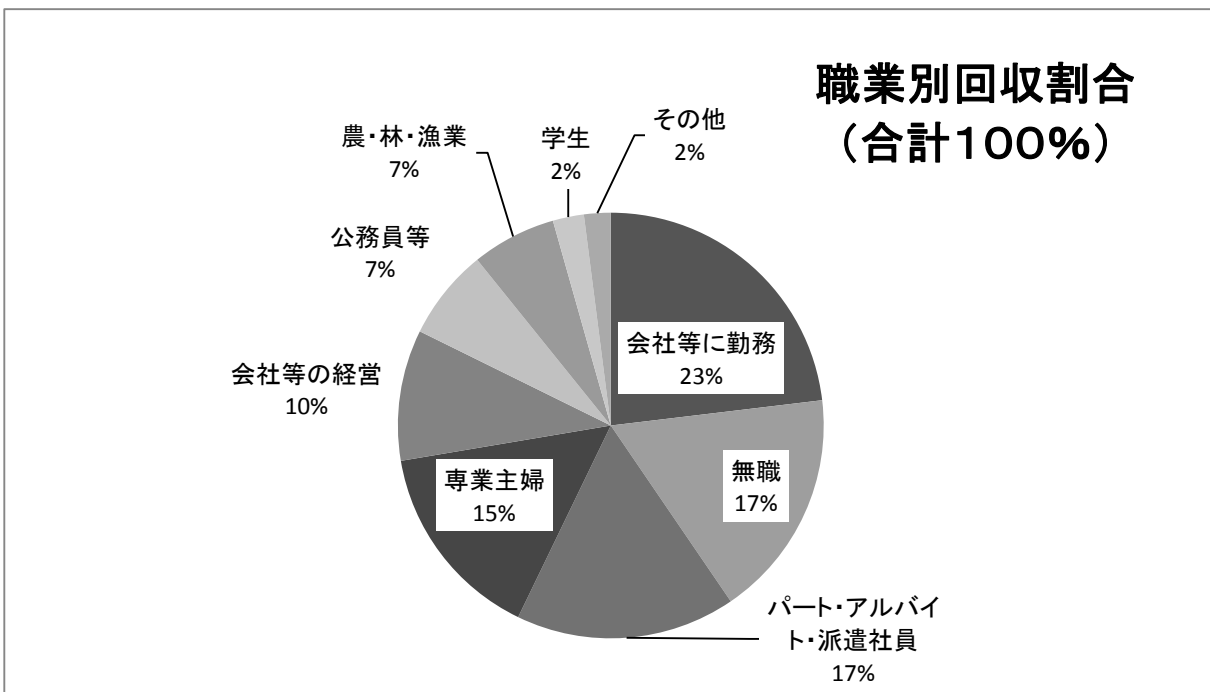
(2)性別回収割合



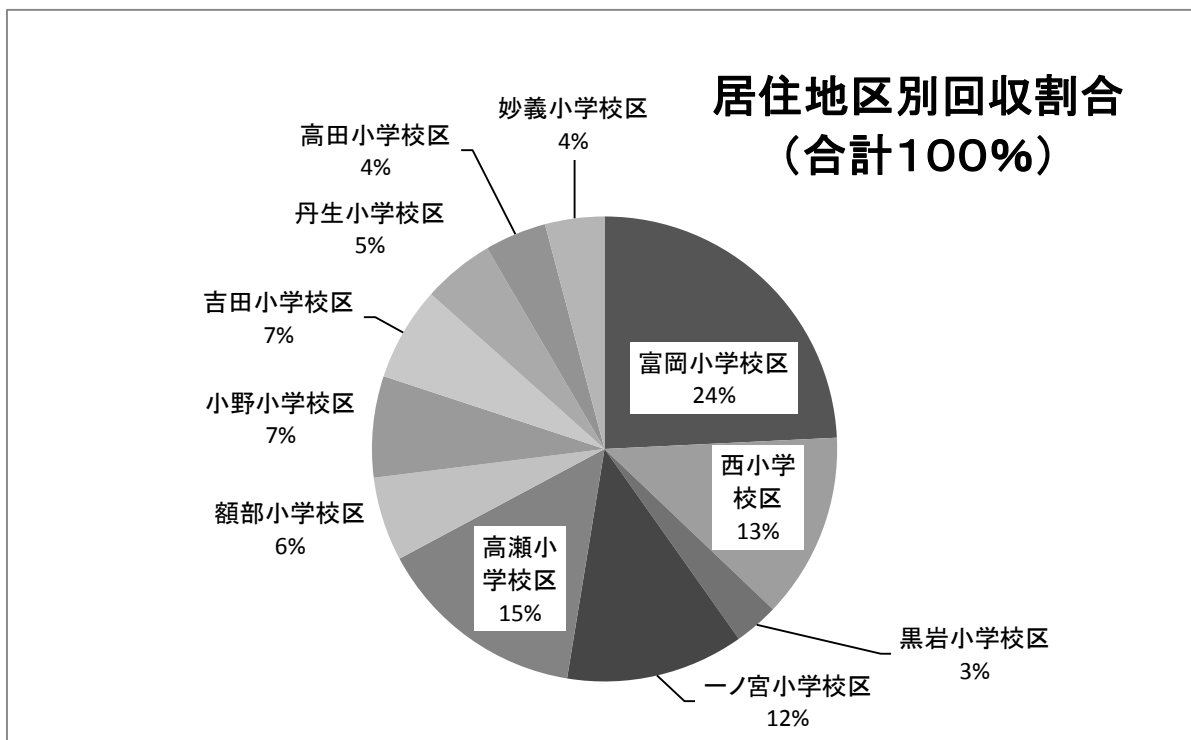
(3)年齢別回収割合



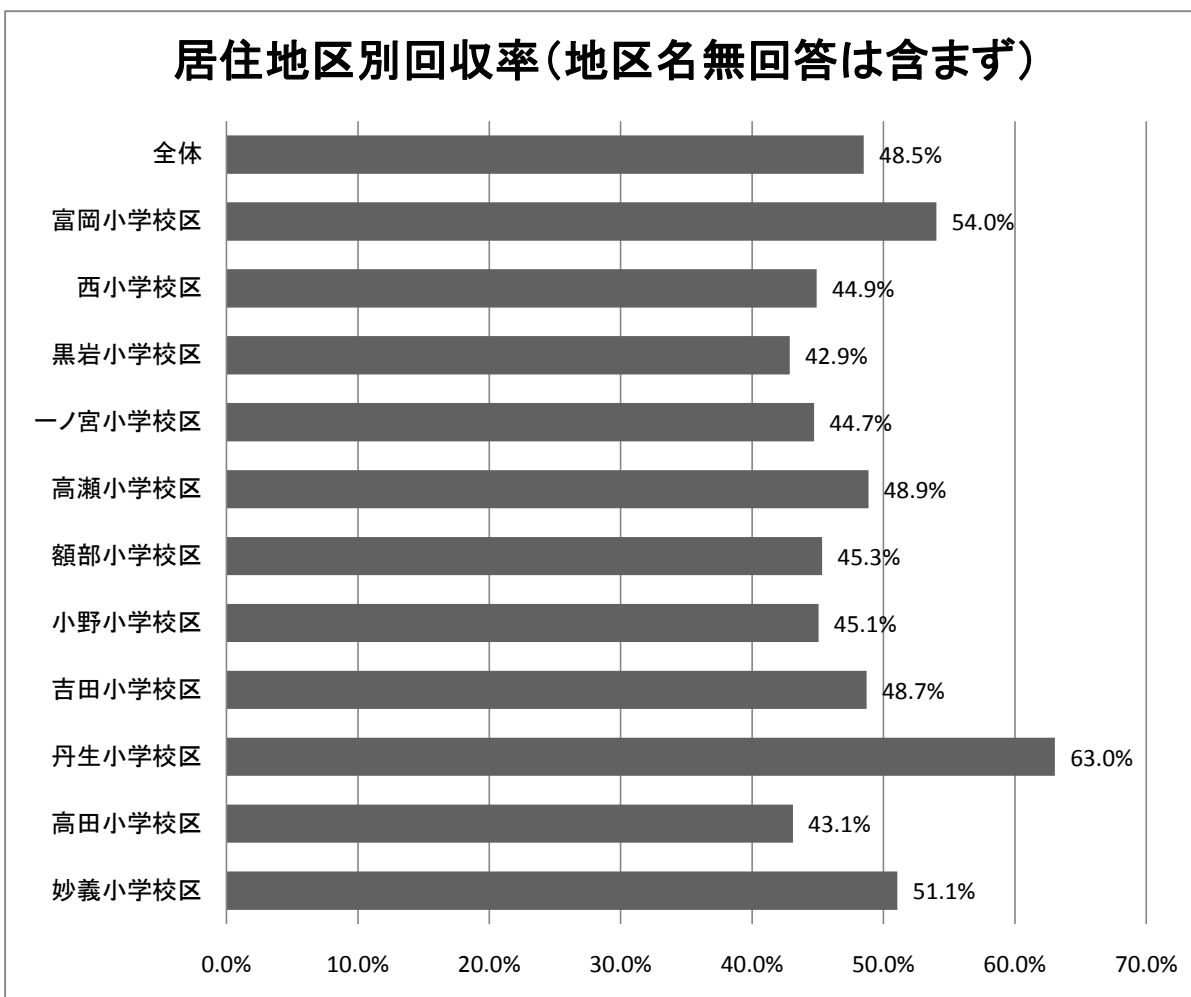
(4)職業別回収割合



(5) 居住地区(小学校区)別回収割合



(6) 居住地区(小学校区)別回収率



6 集計について

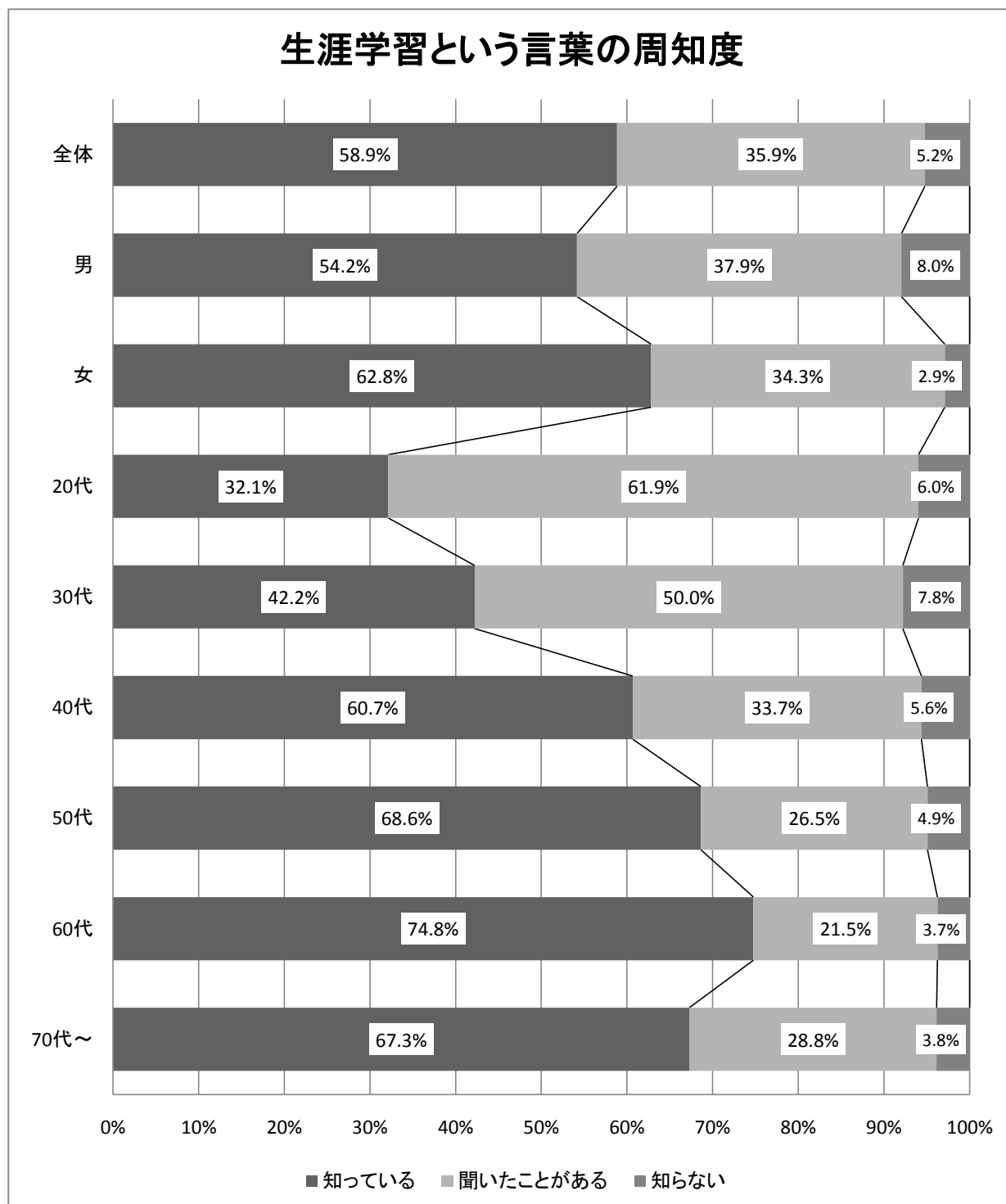
小数点以下第2位四捨五入の関係で、合計が100%とならない場合がある。

Ⅱ 調査結果の概要

1 生涯学習という言葉の周知度・理解度

(1) 言葉の周知度

質問1 あなたは、「生涯学習」という言葉を知っていますか。次の中から1つを選んでください。

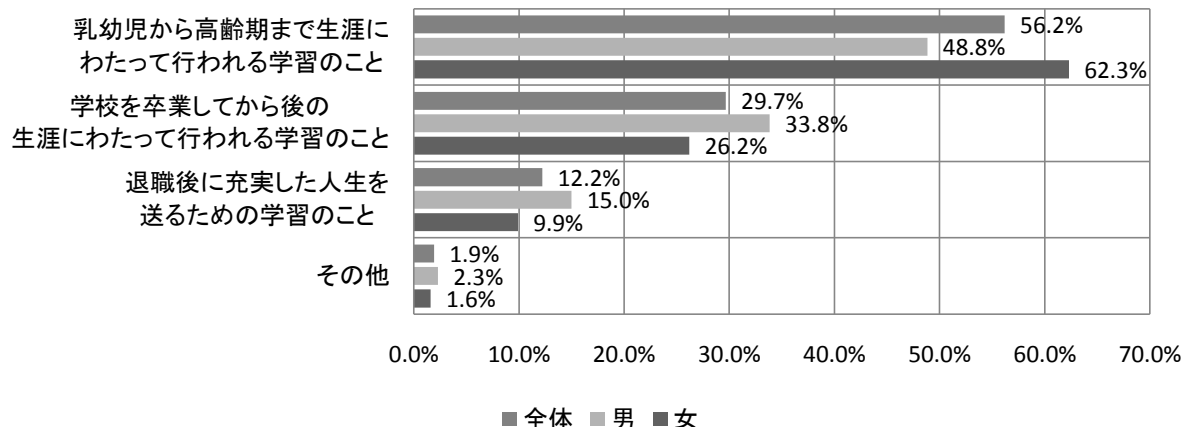


全体で約6割の人が、「生涯学習」という言葉を「知っている」と答えています。「聞いたことがある」まで含めると9割以上になります。生涯学習という言葉は、様々なところで一般的に使われていることがわかります。年齢別に見ると、年齢が高くなる方が生涯学習という言葉を知っている割合が高くなっています。

(2) 言葉の理解度

質問2 生涯学習とは、どういう学習だと思いますか。次の中から1つ選んでください。

生涯学習という言葉の理解度



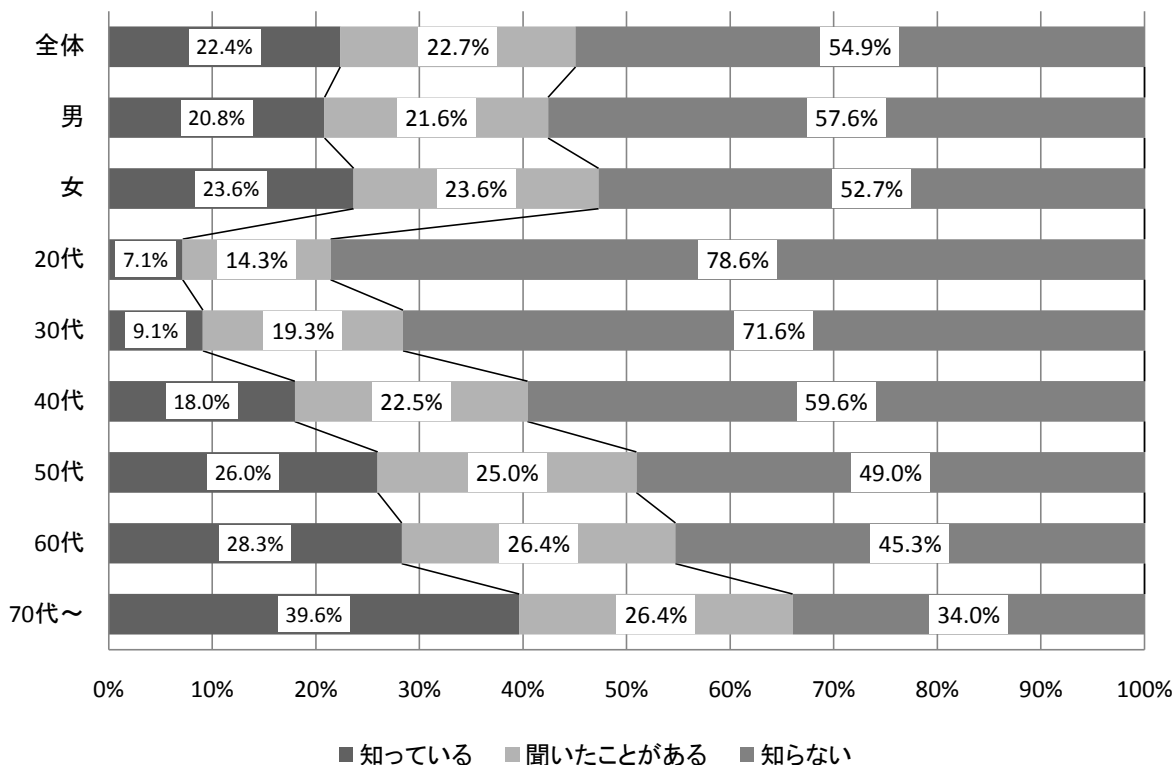
全体で、5割以上の方が生涯学習という言葉を知っています。学校を卒業してから後の社会教育を、生涯学習と考えている人が約3割います。

2 本市の生涯学習事業の取り組みについて

(1) 生涯学習都市宣言の周知度

質問3 あなたは、富岡市が「生涯学習都市宣言」をしたことを知っていますか。次の中から1つ選んでください。

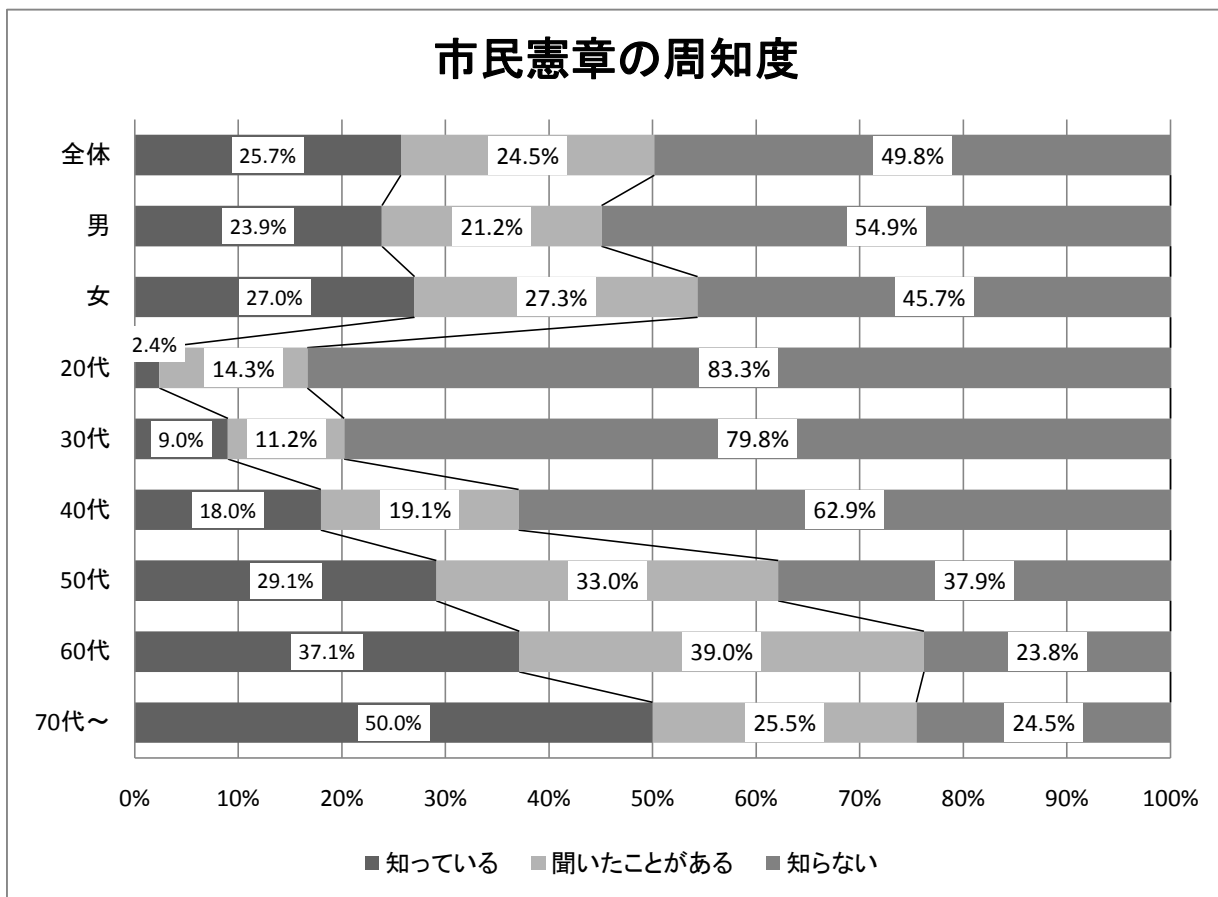
生涯学習都市宣言の周知度



全体で、半分近くの方が「知っている」「聞いたことがある」と答えています。年齢別では、若い世代の周知度がかなり低い値です。広報やホームページ等によるPR、様々なイベントでの朗読など、啓蒙活動を工夫する必要があります。

(2) 富岡市民憲章の周知度

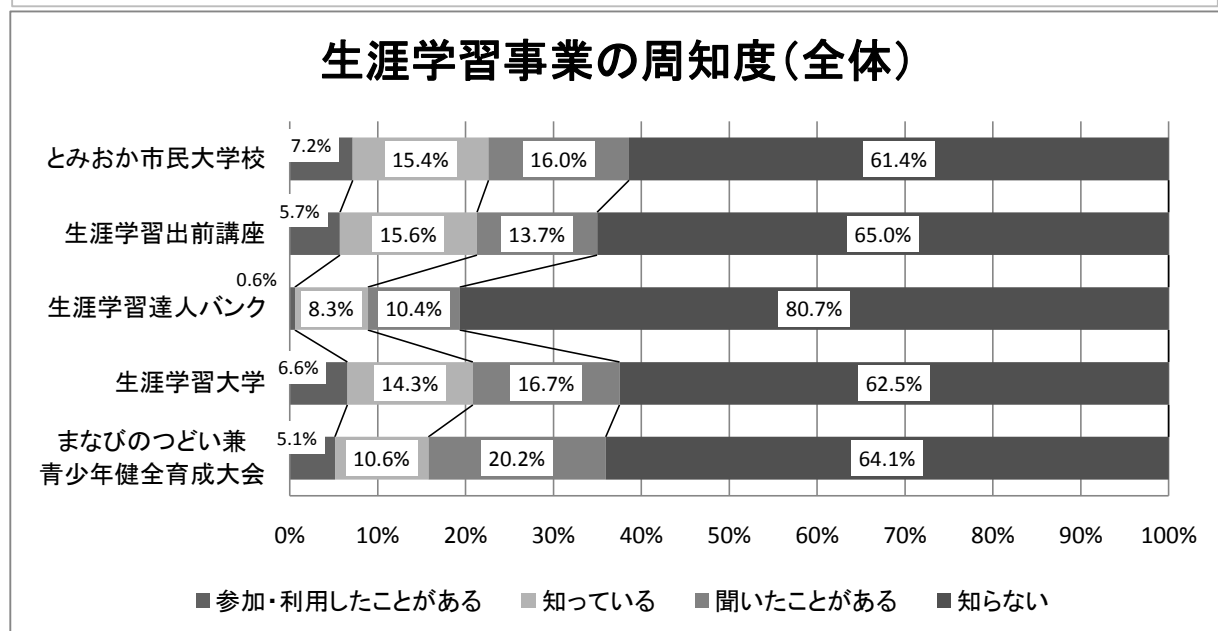
質問4 あなたは、昨年度、富岡市が「富岡市民憲章」を制定したことを知っていますか。次の中から1つ選んでください。



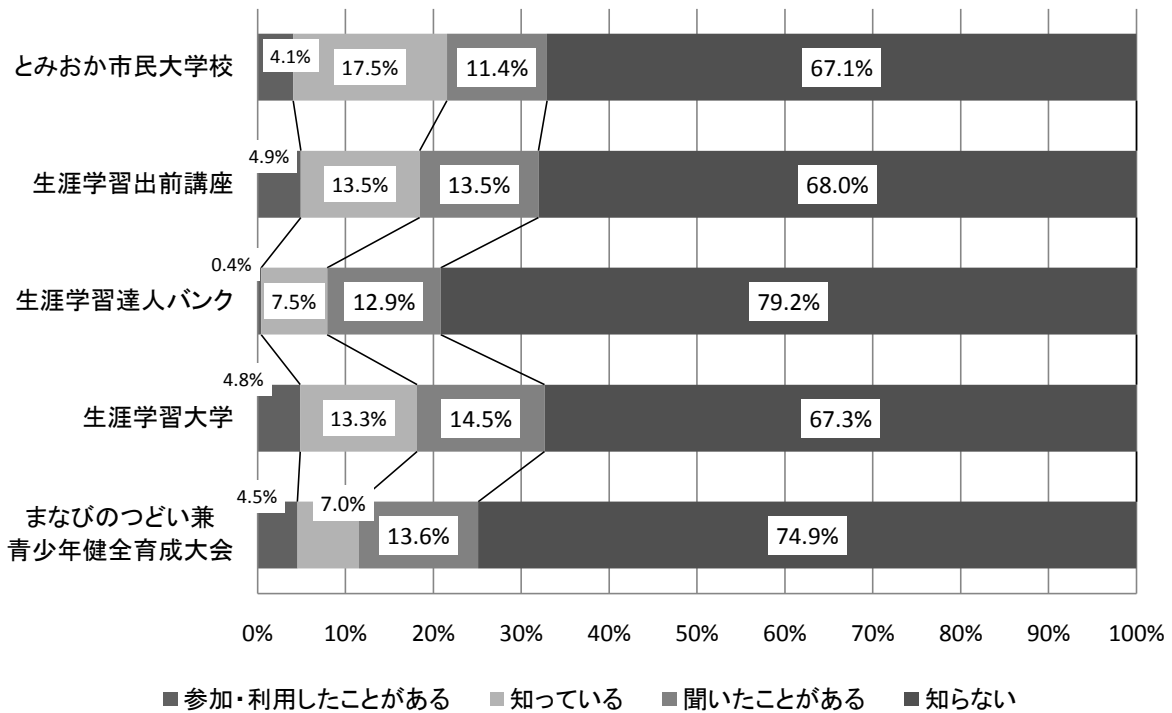
全体で、「知っている」「聞いたことがある」と回答した人は、合わせて約5割と、低い割合でした。年齢別では、若い世代ほど、周知度が低く、20代は8割強、30代は約8割が「知らない」と答えています。年齢が高くなるにつれて周知度は上がり、「知らない」割合も低くなっています。

(3) 本市の生涯学習実施事業について

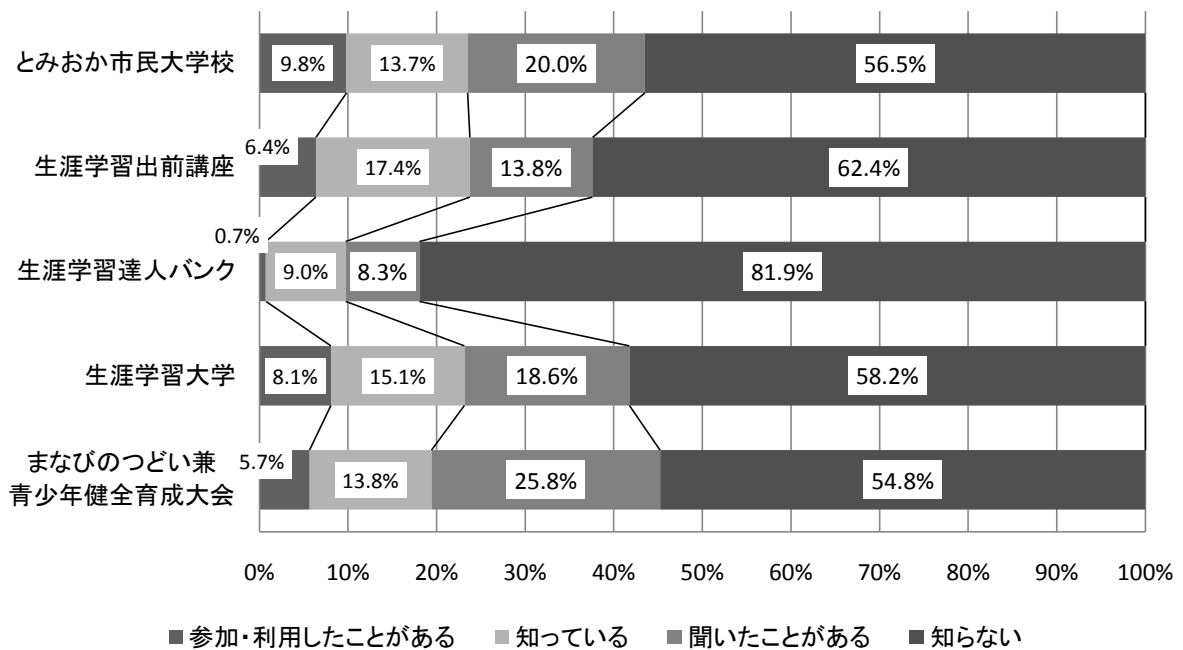
質問5 次の事業は、富岡市が実施している生涯学習に関する事業です。①～⑤について該当するところに○をつけてください。



生涯学習事業の周知度(男性)



生涯学習事業の周知度(女性)

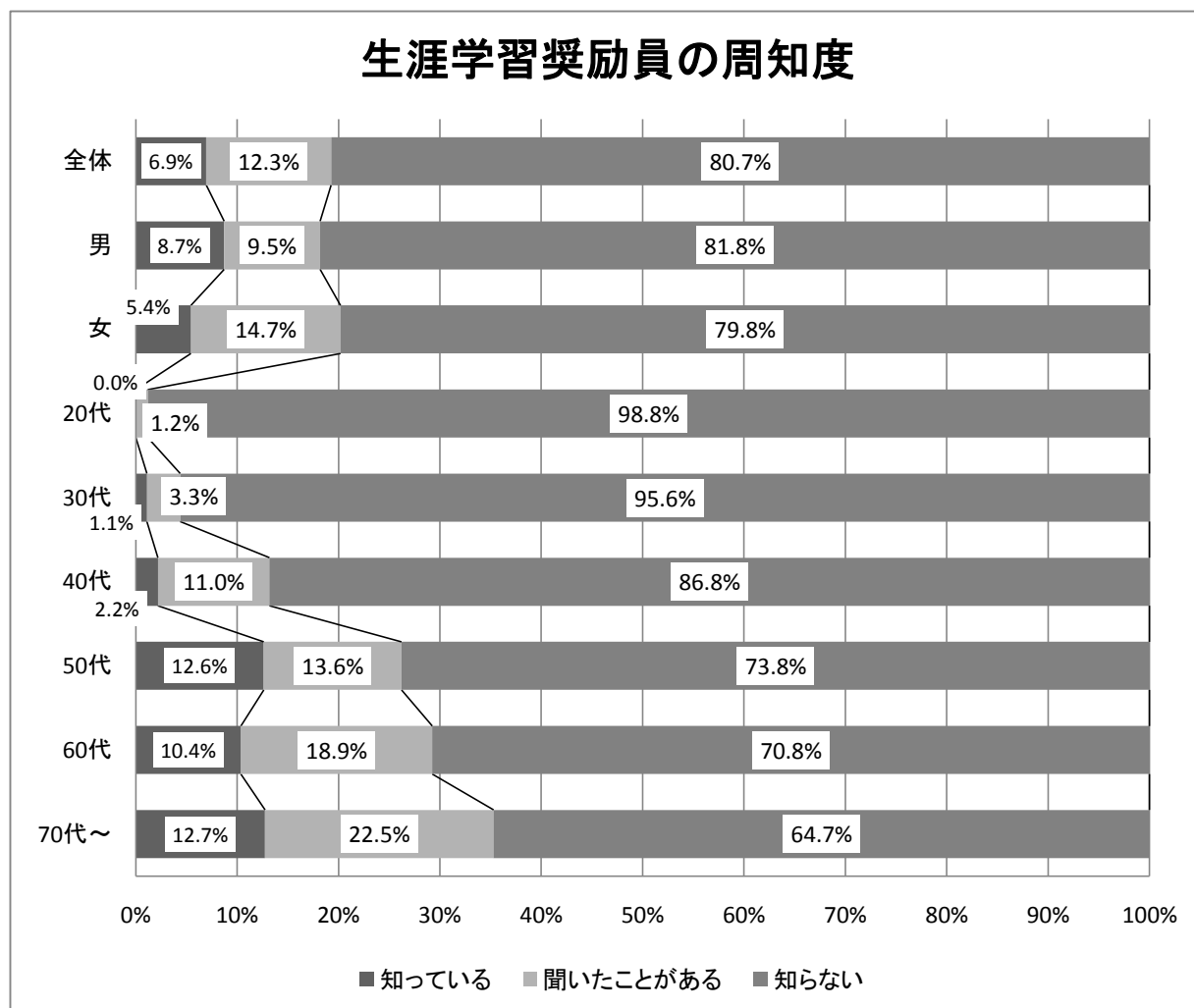


どの事業についても、周知度は低く、最も高いとみおか市民大学校が、「参加・利用したことがある」「知っている」「聞いたことがある」を合わせると約4割でした。「知らない」割合はどれも6割を超えており、生涯学習達人バンクでは、約8割となっています。「参加・利用したことがある」は、どの事業とも1割未満でした。男女別で見ると、参加・利用者は、どれも女性の方が高くなっています。

今後、どのように参加・利用者を増やすかが大きな課題です。

(4) 生涯学習奨励員についての理解度と意見

質問6 あなたは、生涯学習奨励員について知っていますか。また、知っていると答えた方は、奨励員の制度についてどう思われますか。ご意見等ありましたら、ご自由にお書きください。



「知っている」「聞いたことがある」を合わせても、全体で約2割と、周知度はたいへん低いです。年代別では、年齢が若くなるにつれて知らない割合が高くなり、20代、30代とも、ほとんどの人が「知らない」と答えています。40代以上は、どの年代も1割程度が「知っている」と答えています。

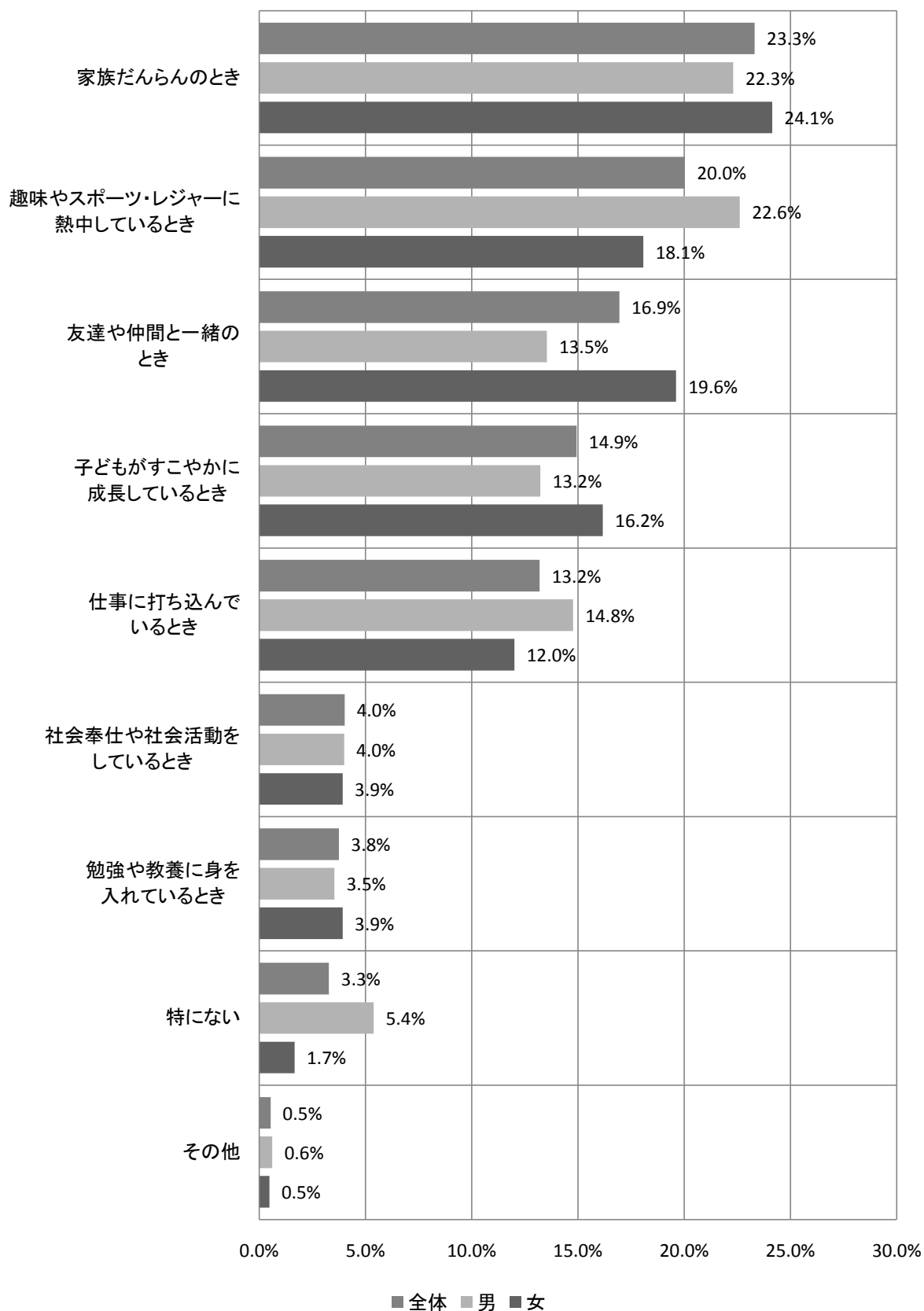
【生涯学習奨励員についてのご意見等】(自由記述・一部掲載)

- ・とてもよいと思います。多様なニーズに応えられるように多くの学習の種類や講師がいるとよいと思います。
- ・奨励員の方々の行事は、色々勉強になり昔の様子などとても楽しく拝見させていただきました。
- ・生涯学習の機会が広がるため、奨励員活動が活発なことはよいことだと思います。
- ・切磋琢磨して向上している制度を歓迎する。
- ・どんな活動をしているのか知りません。情報も入りません。
- ・選出方法などアピール度が低い。
- ・区長を卒業された、地域でも有能な方々が委員になられているので、もう少し予算をつけてやれば、もっと多くの事業、支援ができると思います。
- ・奨励員がもっと情報提供をし、参加者を誘うとよい。
- ・奨励員の方が、地域の中でどんなことをどのように進めるかが、課題です。
- ・内容的には優れているが、利便性・周知制度・活用方法などを改善するとよいのではないかと思います。

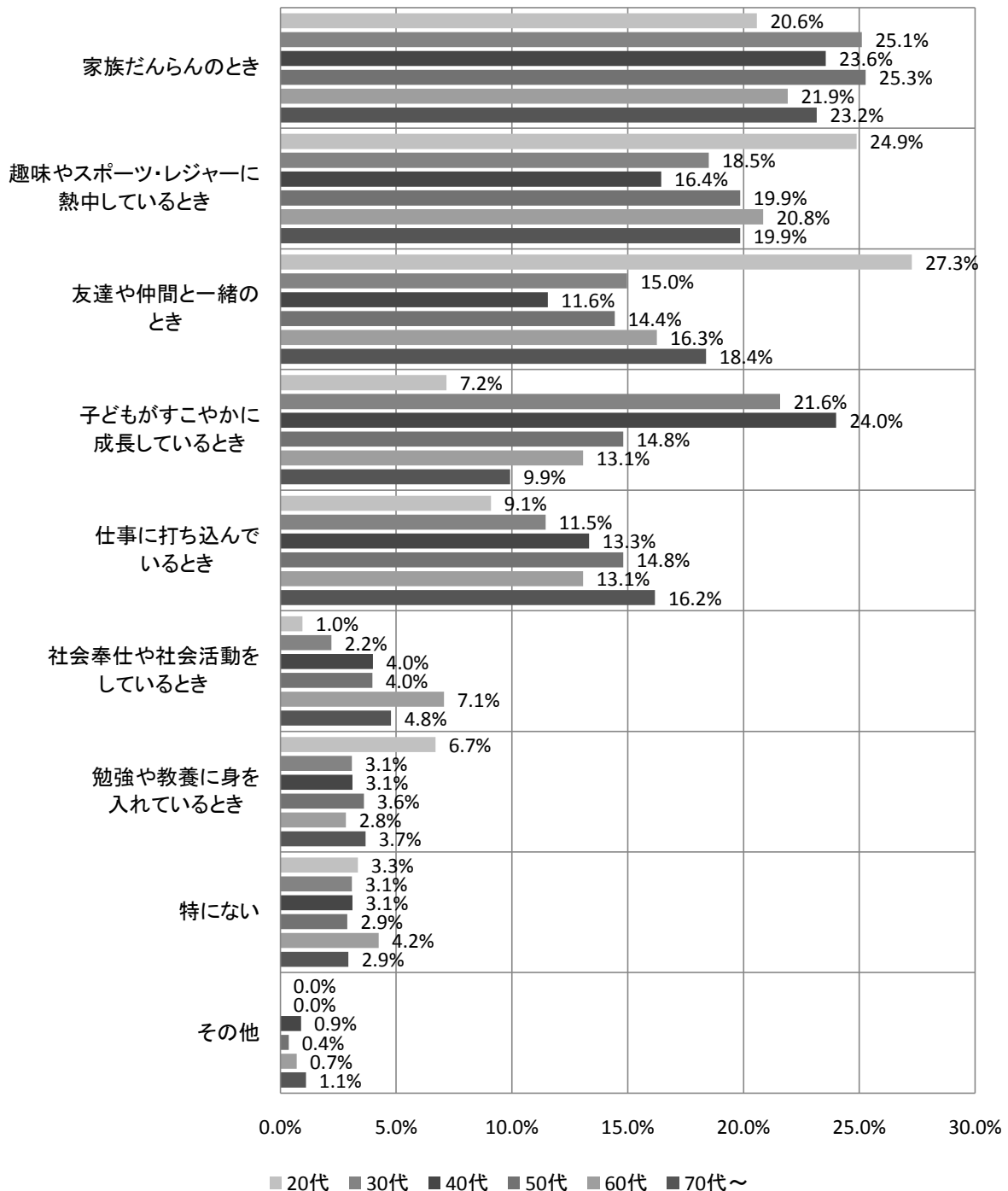
3 日常生活における生きがい

質問7 あなたは、現在どんなことに生きがいを感じていますか。次の中からあなたの考えに近いものを3つまで選んでください。

日常生活の生きがい(全体、男女別)



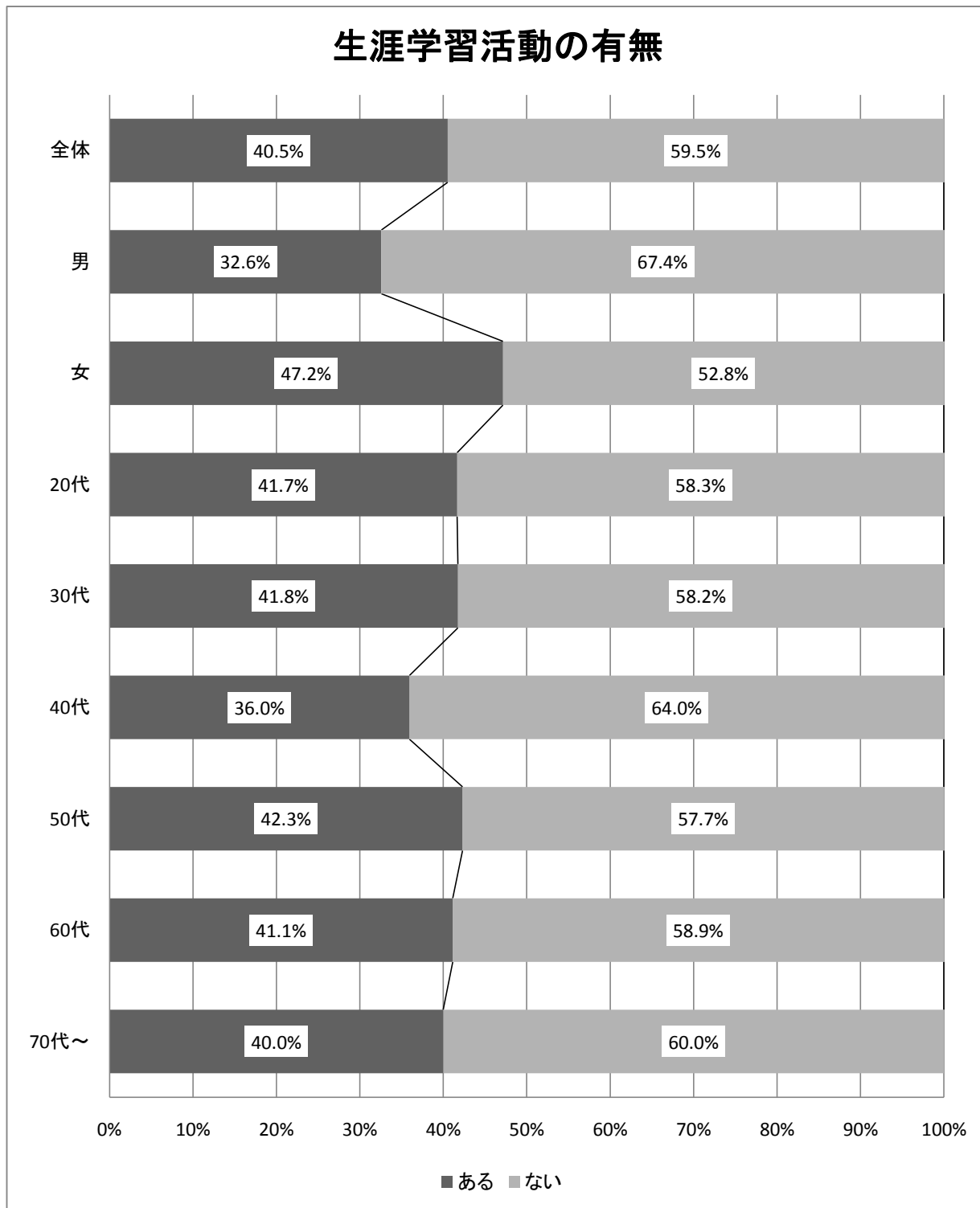
日常生活の生きがい(年代別)



全体で、「家族だんらんのとき」が2割強と最も高く、次いで「趣味やスポーツ・レジャーに熱中しているとき」が2割、「友達や仲間と一緒にいるとき」が2割弱となっています。年代別では、20代は「友達や仲間と一緒にいるとき」が3割弱と最も高く、次いで「趣味やスポーツ・レジャーに熱中しているとき」が2割強となっていますが、40代では、「子どもがすこやかに成長しているとき」が2割強と最も高く、次いで「家族だんらんのとき」が同じく2割強、「趣味やスポーツ・レジャーに熱中しているとき」が2割弱となっています。70代以上では、「家族だんらんのとき」が2割強で最も高く、次いで「趣味やスポーツ・レジャーに熱中しているとき」が約2割、「友達や仲間と一緒にいるとき」が2割弱となっています。年齢や性別によっても、生きがいの感じ方に差が出ています。成長期の子供を抱える30代、40代は、子供の成長への生きがいを感じる割合が高くなり、年齢が高くなるにつれて、「友達や仲間と一緒にいるとき」や、「仕事に打ち込んでいるとき」、「社会奉仕や社会活動をしているとき」などの割合が高くなっています。

4 生涯学習活動について
 (1)生涯学習活動の有無

質問8 あなたは、この1年間に個人またはグループ等で学習や文化・スポーツ活動をしたこと(していること)がありますか。次の中から1つ選んでください。

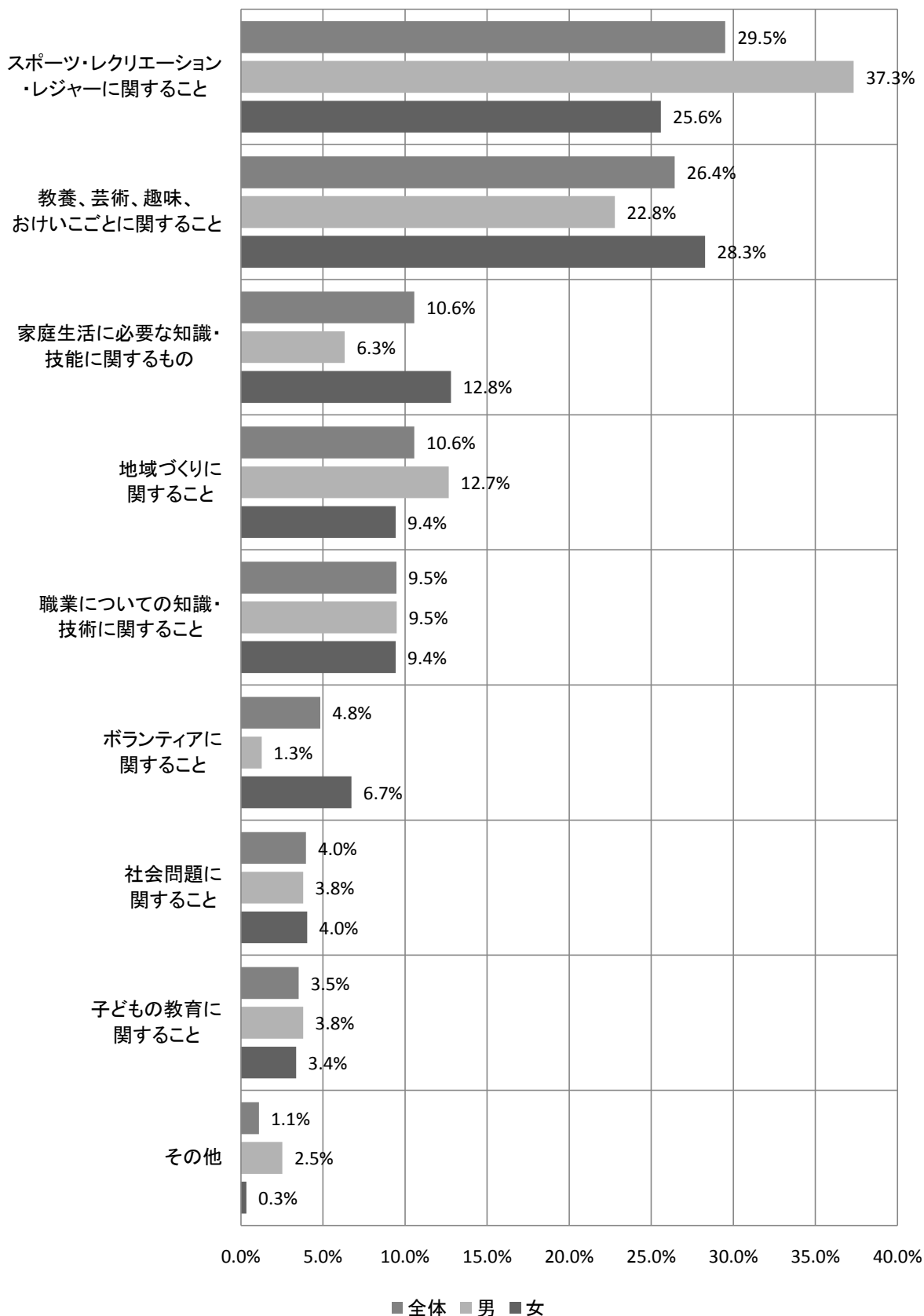


1年間で生涯学習活動をしたことがある人は、全体で約4割でした。男性3割強に対して、女性は5割弱で、男女によりかなりの差が見られました。また、年齢別では、40代が4割弱と低くなっています。

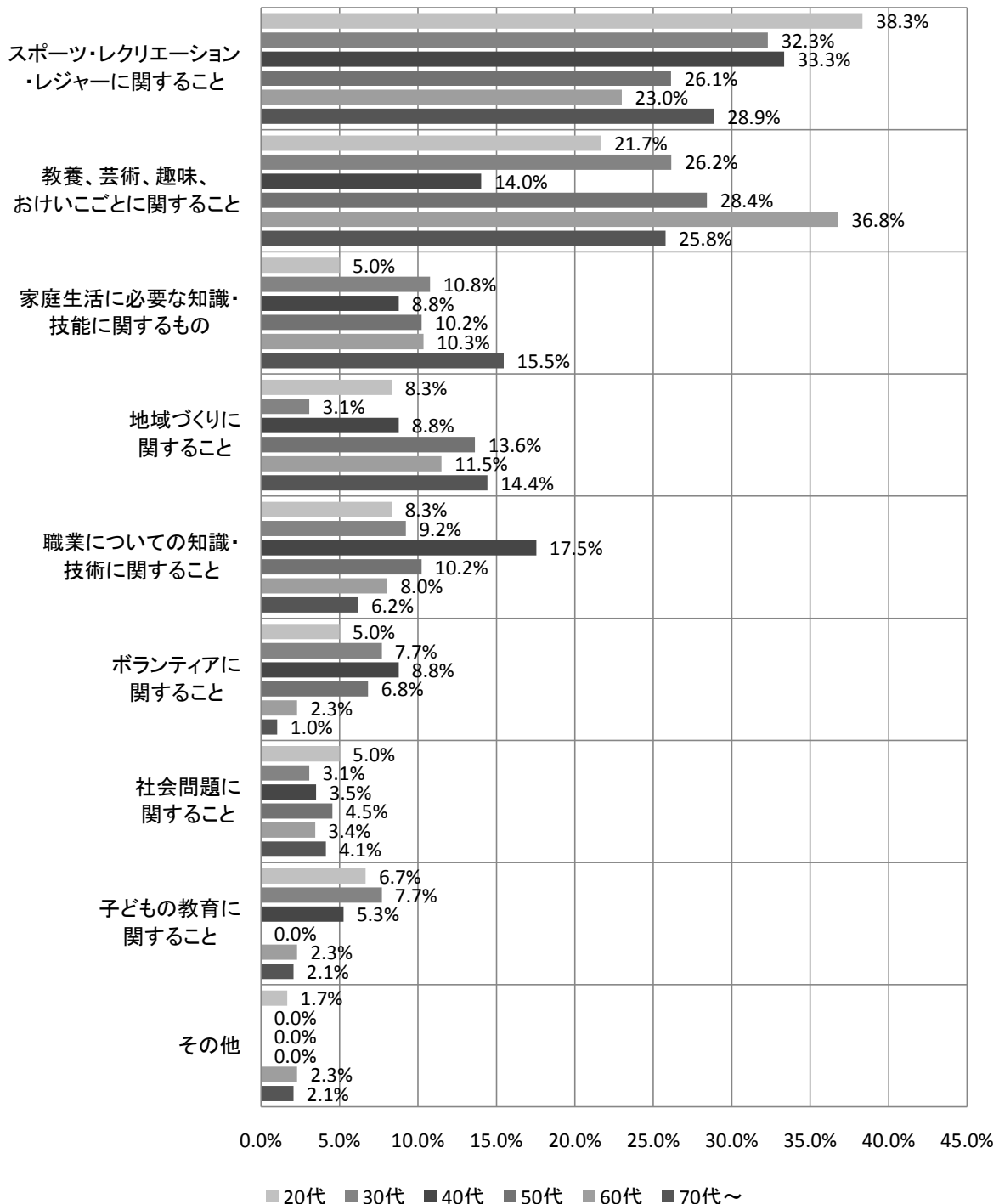
(2)生涯学習活動の内容と方法

質問9 あなたの行った学習や活動は、どんな内容でしたか。次の1～9の中から主なものを3つまで選んでください。

生涯学習活動の内容(全体、男女別)



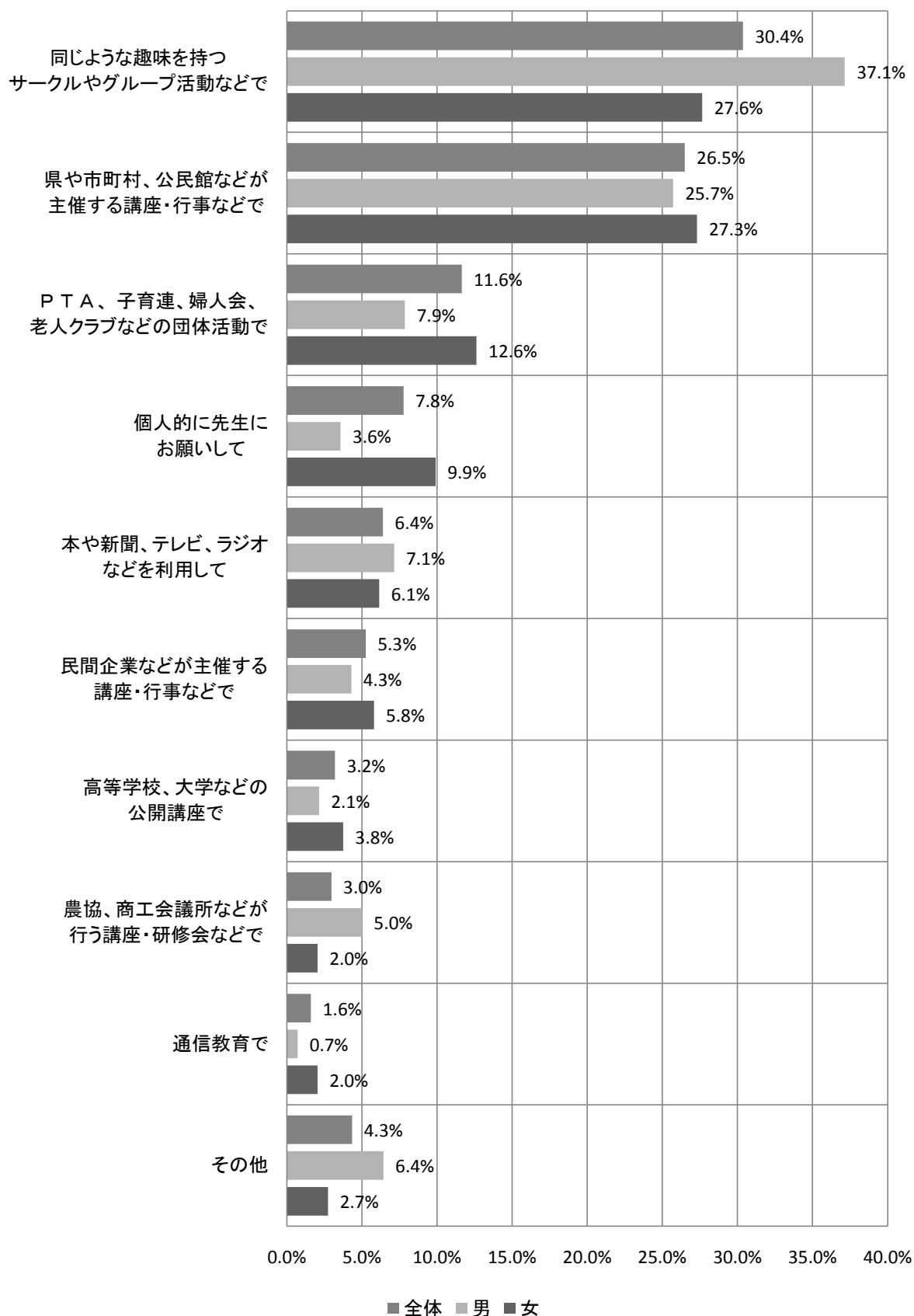
生涯学習活動の内容(年代別)



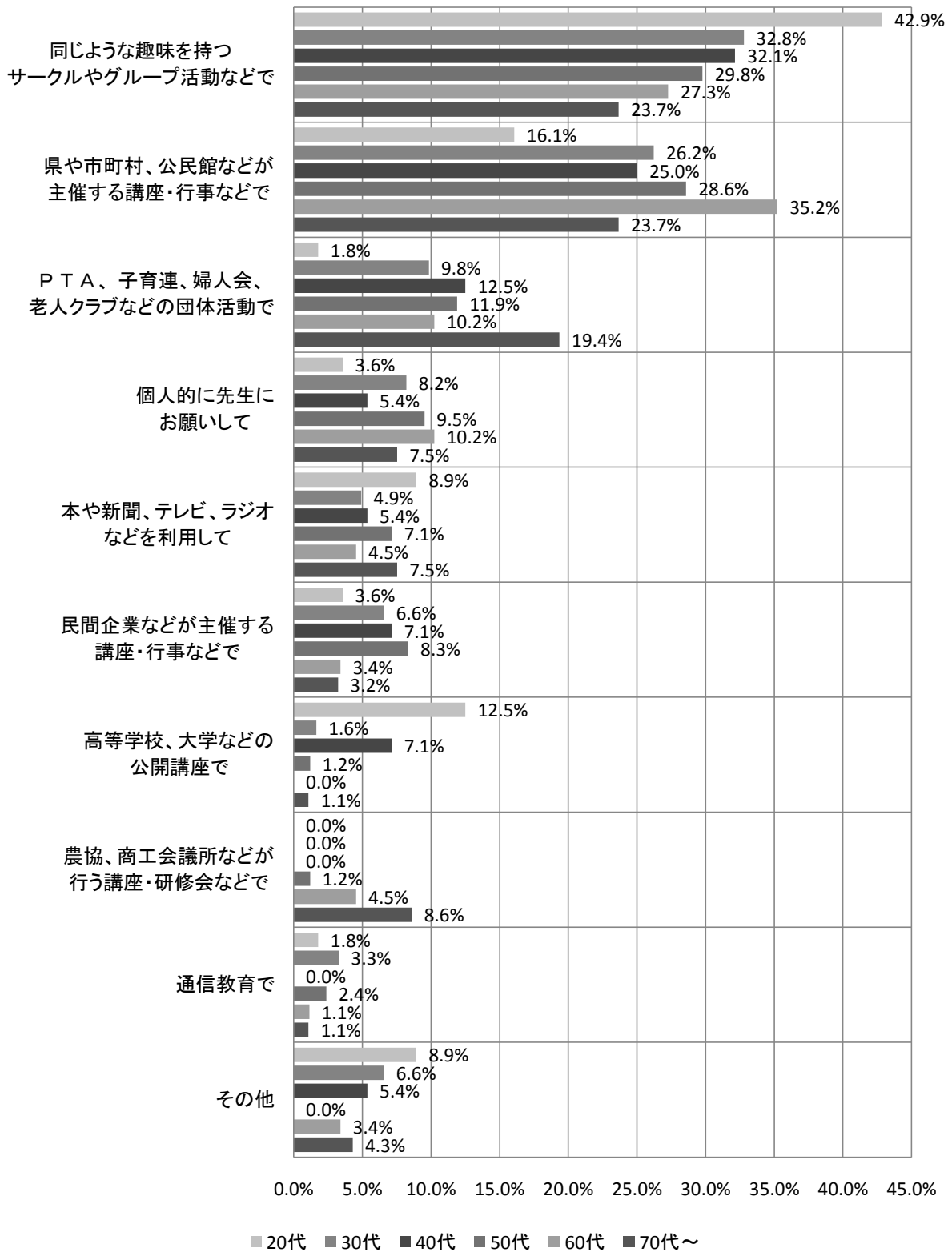
全体では、「スポーツ・レクリエーション・レジャーに関すること」が約3割、「教養、芸術、趣味、おけいごとに関すること」が3割弱と高い割合です。次いで、「家庭生活上に必要な知識・技能に関するもの」と「地域づくりに関すること」が約1割となっています。男女別に見ると、「スポーツ・レクリエーション・レジャーに関すること」が男性で4割弱、女性で3割弱、「地域づくりに関すること」は男性で1割強、女性で1割弱と男性の割合が高いです。「教養、芸術、趣味、おけいごとに関すること」では、男性が2割強、女性が3割弱、「家庭生活上に必要な知識・技能に関するもの」では、男性が1割弱、女性が1割強、「ボランティアに関すること」では、ともに1割未満ですが、女性の割合の方が高いです。年代別では、「スポーツ・レクリエーション・レジャーに関すること」が若い世代で高く、「教養、芸術、趣味、おけいごとに関すること」は、年代が高い方が、割合が高い傾向にあります。しかし、40代では、1割強とほかの年代よりもかなり低いです。

質問10 あなたの行った学習や活動は、どんな方法で行っていますか。次の中から主なものを3つまで選んでください。

生涯学習活動の方法(全体、男女別)



生涯学習活動の方法(年代別)

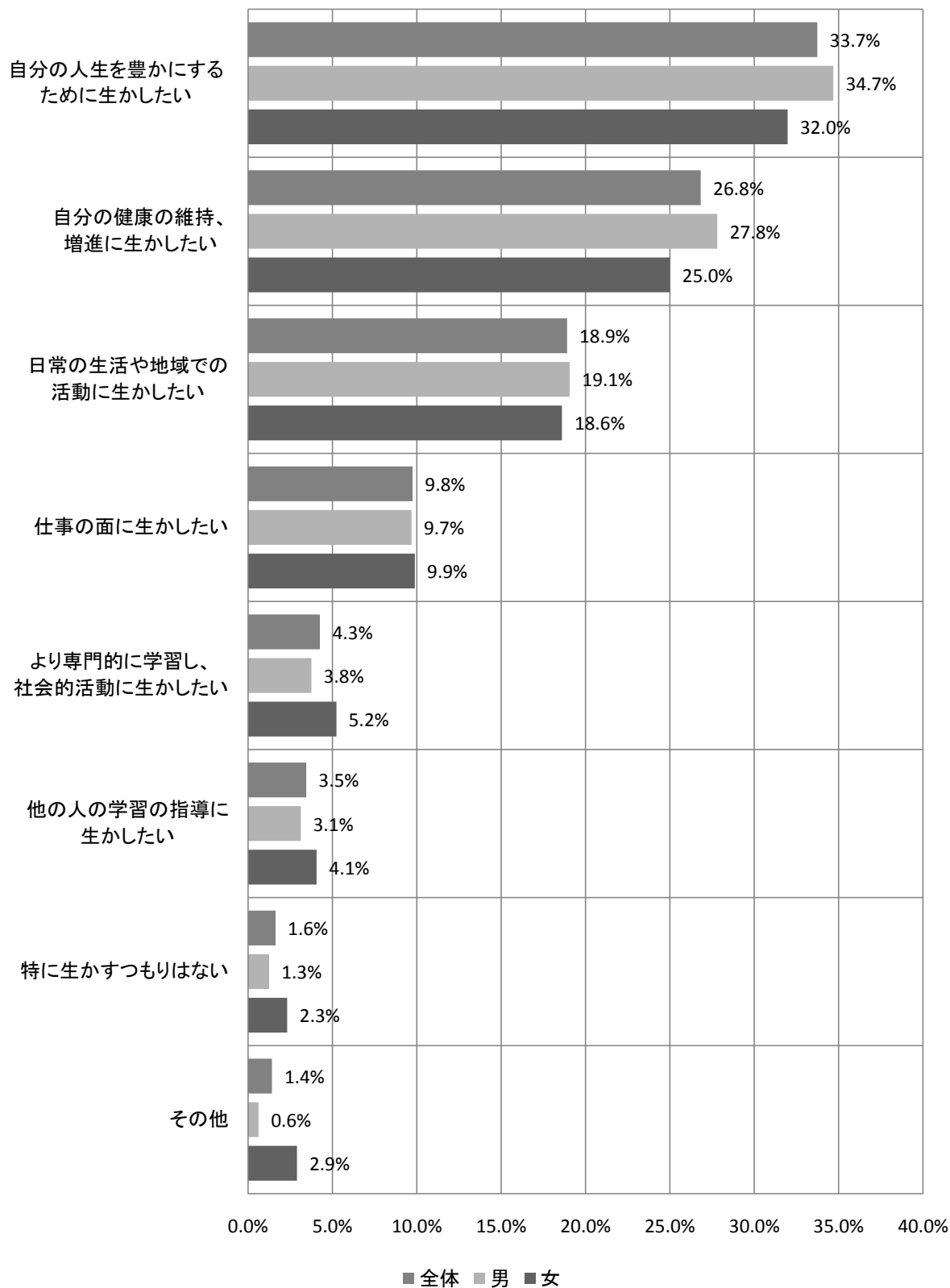


全体として、「同じような趣味を持つサークルやグループ活動などで」が約3割、「県や市町村、公民館などが主催する講座・行事などで」が3割弱と高いです。その中で、20代は、「同じような趣味を持つサークルやグループ活動などで」が4割強とたいへん高かったのですが、「県や市町村、公民館などで主催する講座・行事などで」は2割弱と低かったです。また、60代で「県や市町村、公民館などで主催する講座・行事などで」が4割弱と高かったのが特徴的でした。70代は、「老人クラブなどの団体活動での活動」が約2割と他に比べて高くなっています。

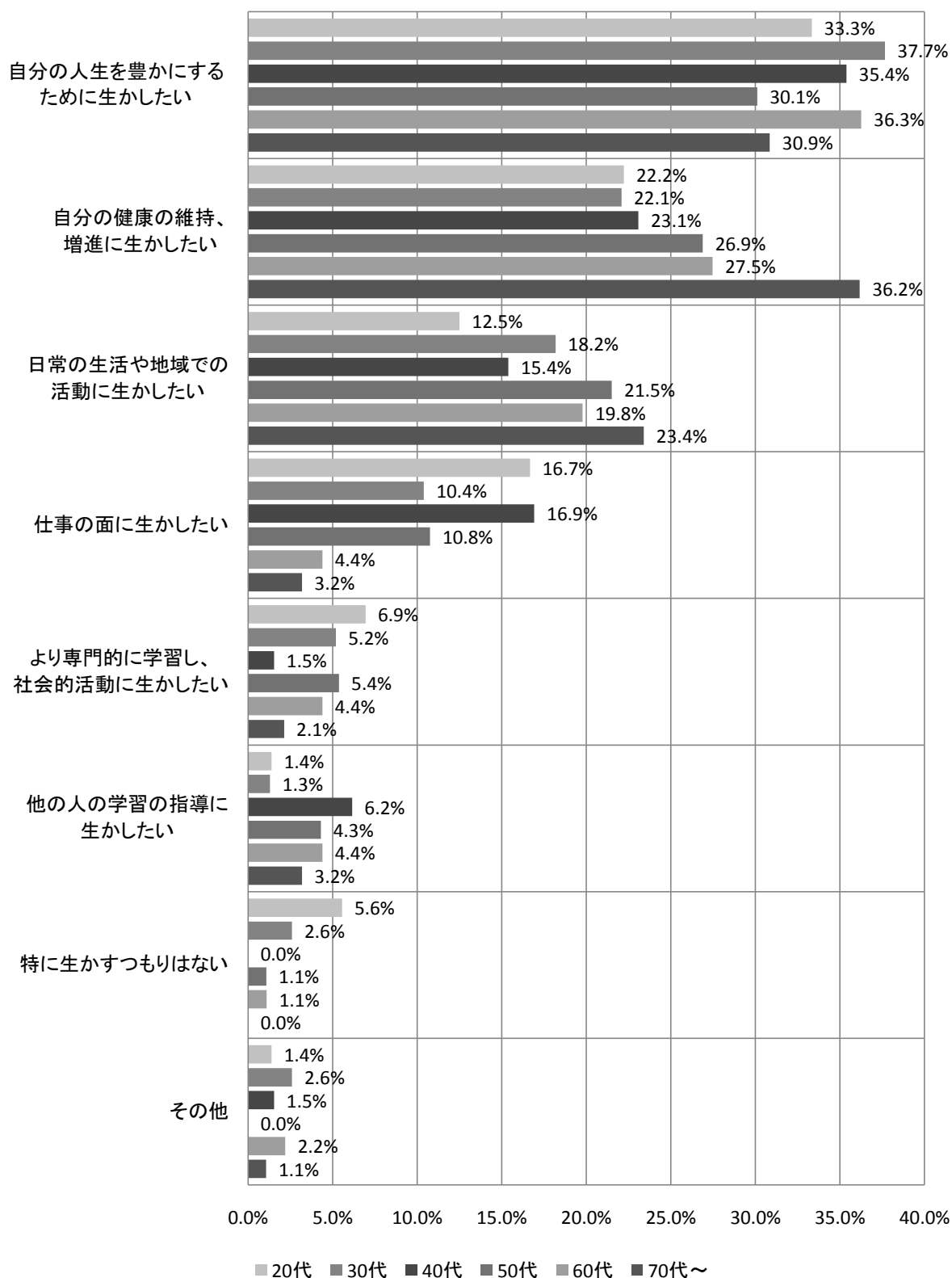
(3)生涯学習活動で身に付けた知識・技能の生かし方

質問11 あなたの行った学習や活動を通じて身に付けた知識や技能を、今後どのような形で生かしたいと思いますか。あてはまるものを3つまで選んでください。

生涯学習活動の生かし方(全体、男女別)



生涯学習活動の生かし方(年代別)

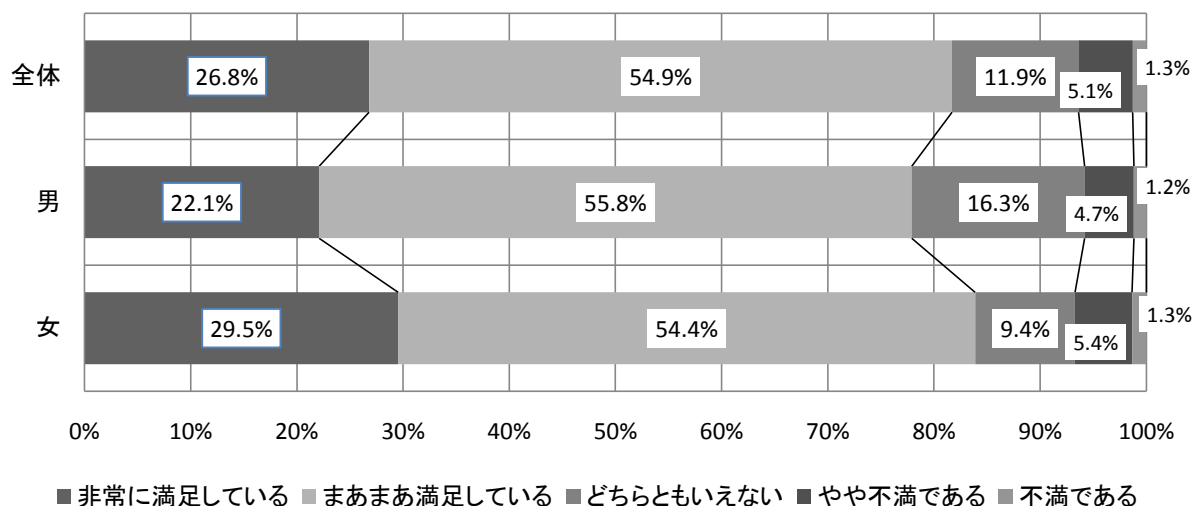


全体として、「自分の人生を豊かにするために」が3割強、「自分の健康の維持、増進」が3割弱、次いで「日常生活や地域での活動」が2割弱となっています。男女とも同じような傾向を示しています。年代別に見ると、「自分の健康の維持、増進に生かしたい」や「日常生活や地域での活動に生かしたい」と考える傾向は、高齢者ほど高くなっています。「仕事の面に生かしたい」と考える人は、20代と40代で多くなっています。

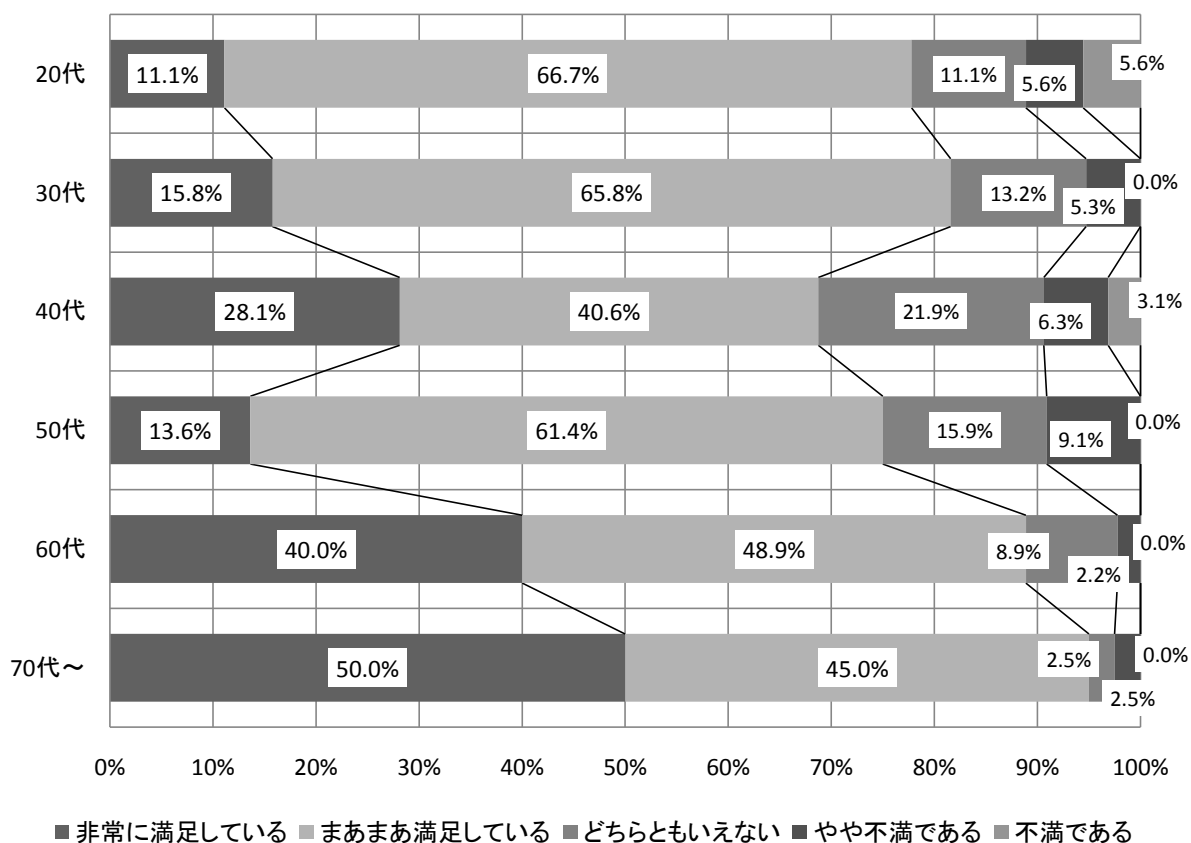
(4)生涯学習活動の満足度

質問12 あなたは、あなた自身の行っている学習や活動に満足していますか。次の中から1つ選んでください。

生涯学習活動の満足度(全体、男女別)



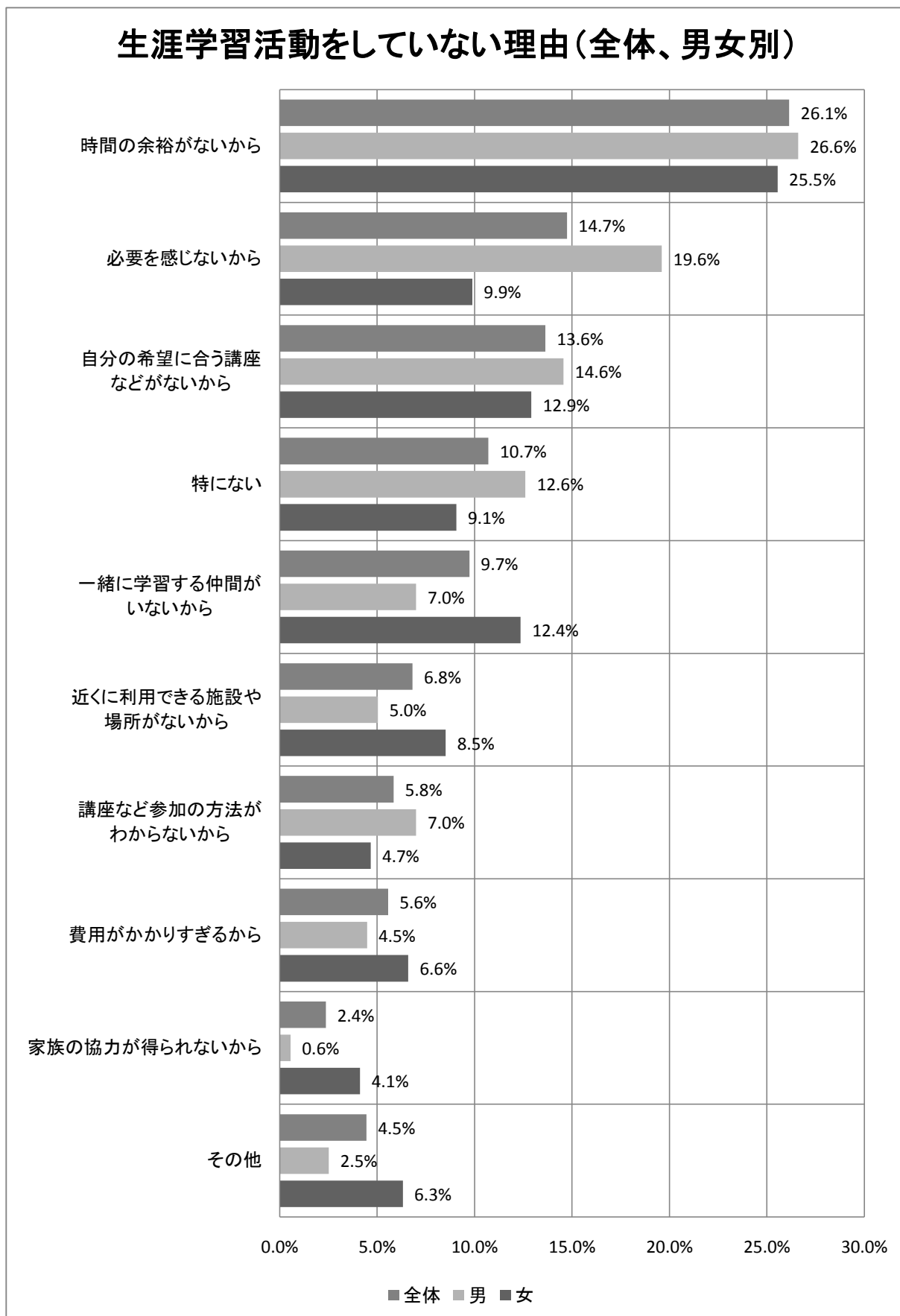
生涯学習活動の満足度(年代別)



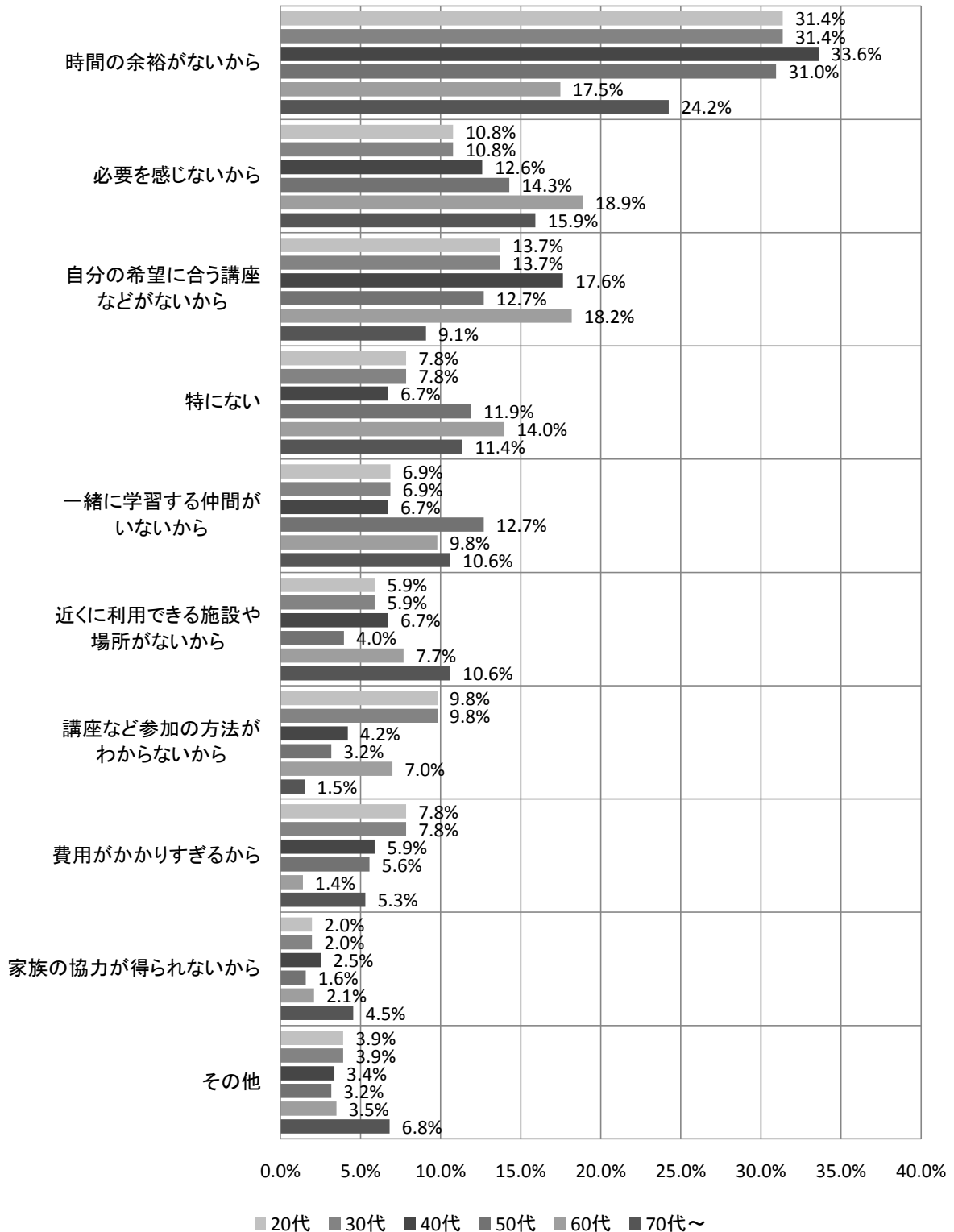
全体としては、「非常に満足している」と「まあまあ満足している」を合わせて約8割と、高い満足度です。年代別では、70代以上が9割強と高い満足度で、60代が9割弱、30代が8割強、20代が8割弱と続きます。40代は、7割弱と他に比べて低いです。

(5)生涯学習活動をしていない理由

質問13 あなたが、学習や活動をしなかった理由はなんですか。あてはまるものを3つまで選んでください。



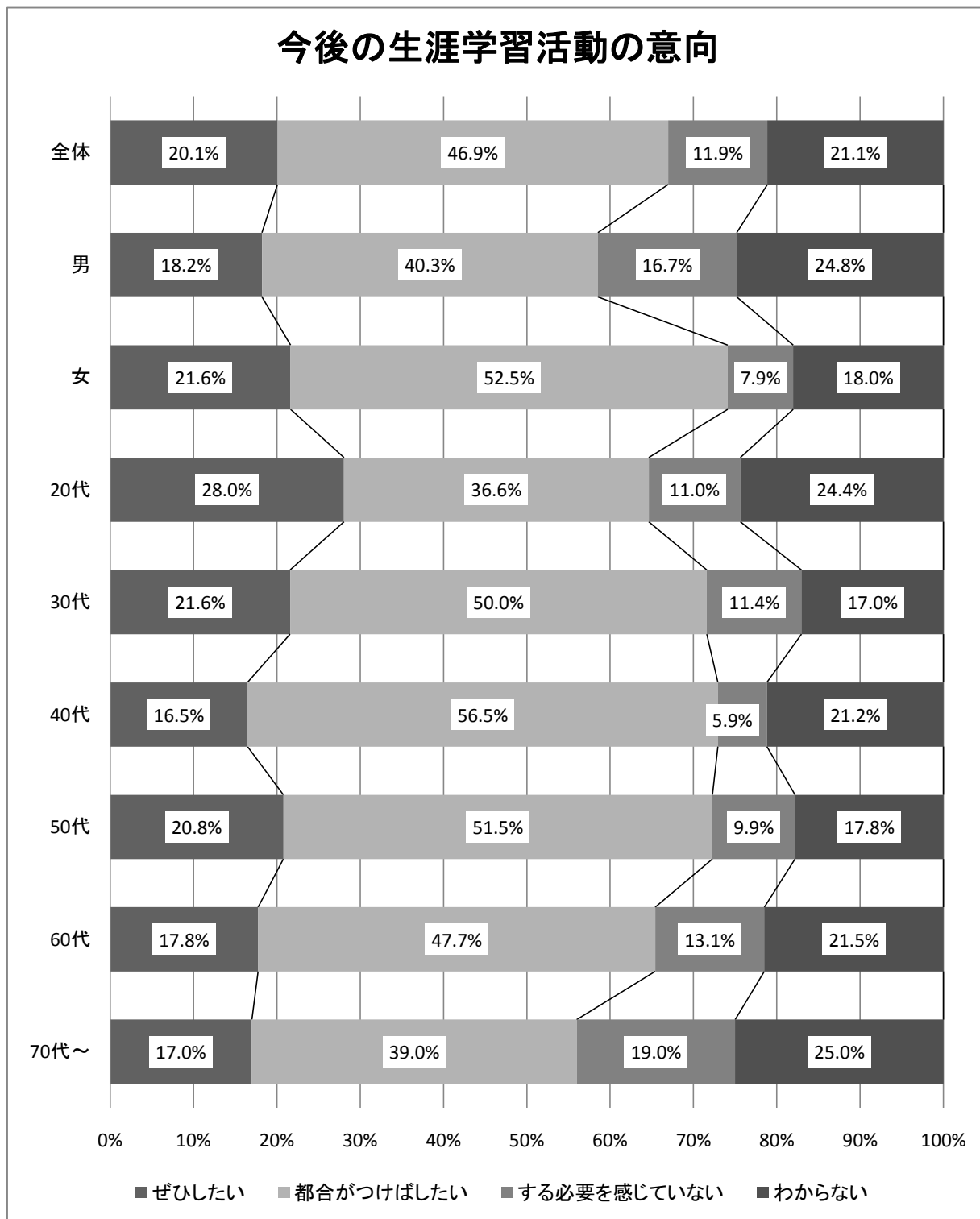
生涯学習活動をしていない理由(年代別)



全体として、「時間の余裕がないから」が3割弱と高く、「必要を感じないから」が1割強、「自分の希望に合う講座などがないから」が同じく1割強と続いています。「特に理由がない」人が約1割います。男女別に見ると、「必要を感じない」という男性が約2割に対し、女性は約1割です。また、「一緒に学習する仲間がないから」は、男性が1割弱なのに対し、女性は1割強と差がありました。年代別に見ると、「時間に余裕がないから」は、50代までが高く、働く世代は、生涯学習活動を行う余裕がないようです。「講座など参加の方法がわからない」と考える20代、30代の方はそれぞれ約1割いました。

5 今後の生涯学習活動について
 (1) 今後の生涯学習活動の意向

質問14 あなたは、これから新たに、または、今後も続けて学習や文化・スポーツ活動をしたいと思いませんか。

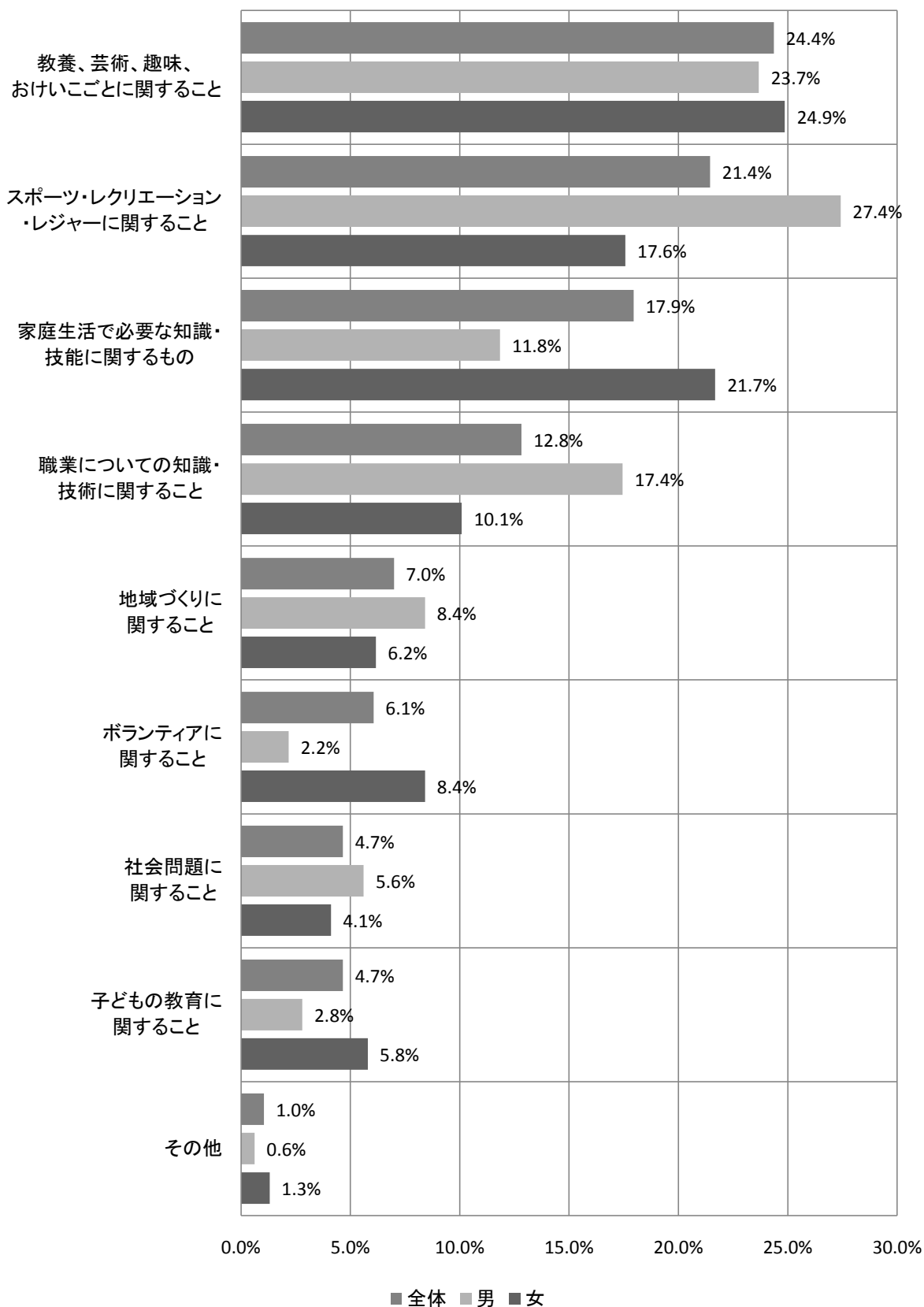


全体として、「ぜひしたい」、「都合がつけばしたい」を合わせると7割弱です。男性は6割弱、女性は7割強で、女性の方が意欲が高いです。年代別では、40代が7割強と最も高く、次いで50代の同じく7割強、30代の約7割となっています。40代は、時間の余裕がなく、生涯学習活動ができないが、やりたいという意欲は多く持っていることがわかります。

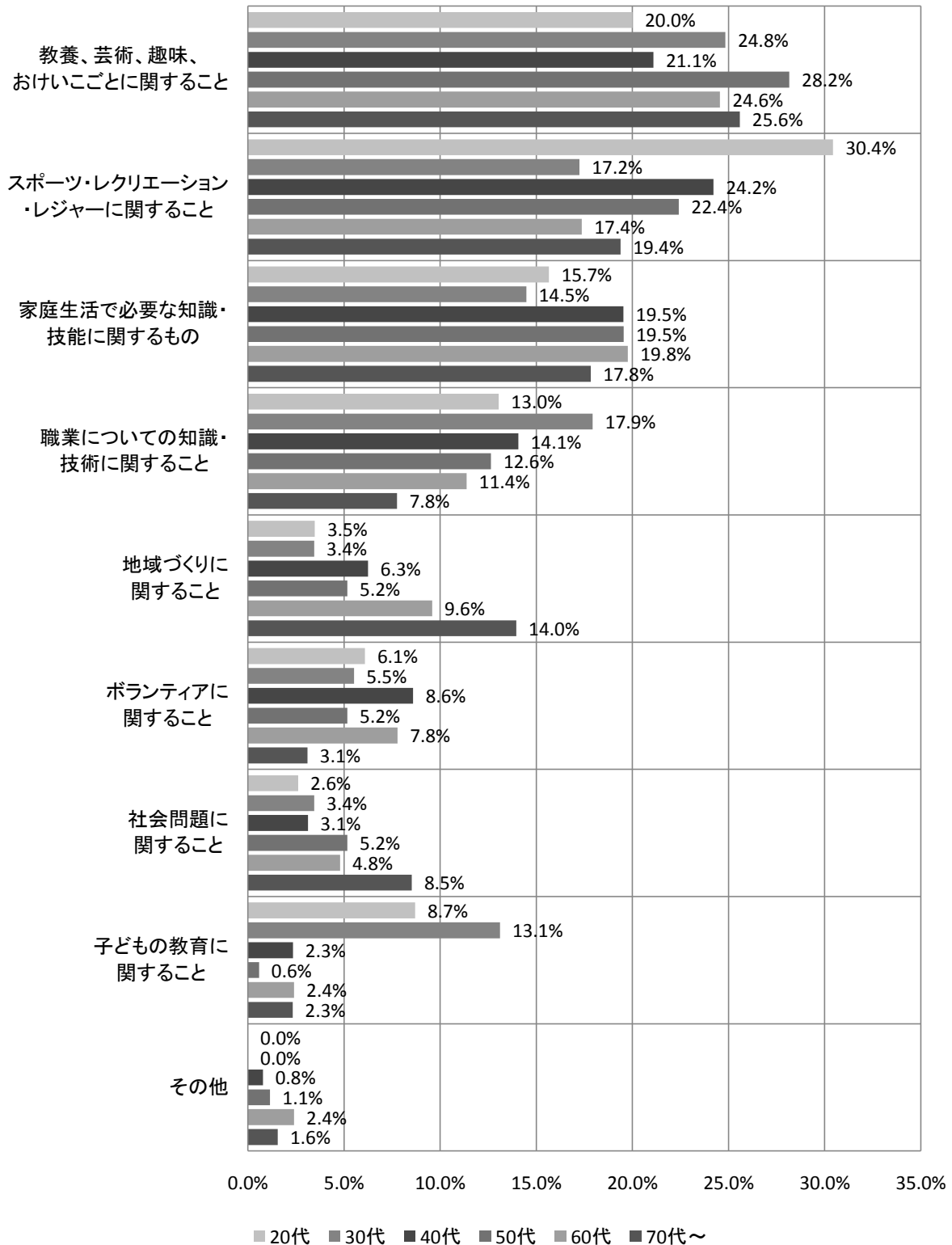
(2) 今後の生涯学習活動の内容と方法

質問15 これからは、どのような学習や文化・スポーツ活動をしたいと思いますか。次の1～9の中から主なものを3つまで選んでください。

今後の生涯学習活動の内容(全体、男女別)



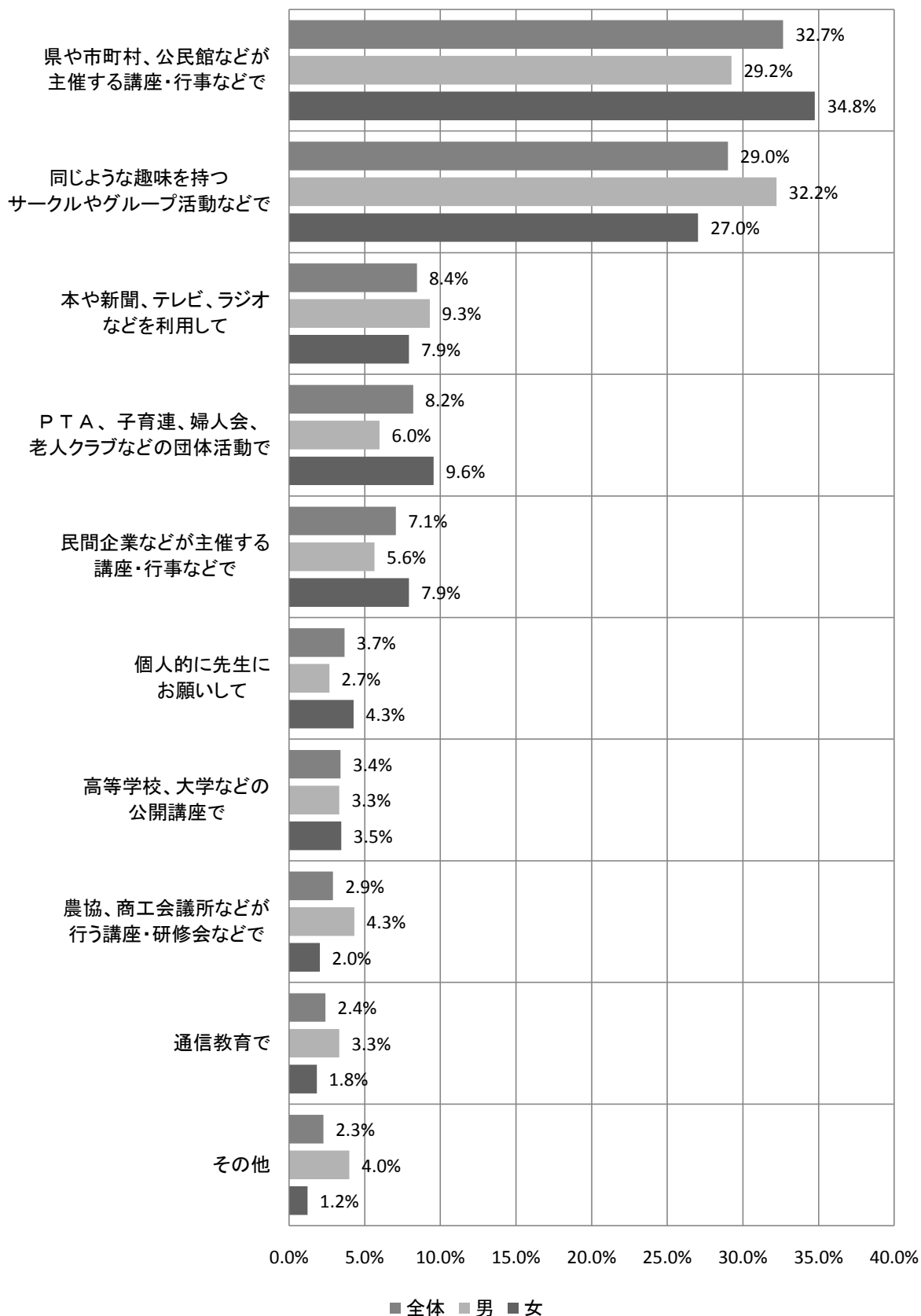
今後の生涯学習活動の内容(年代別)



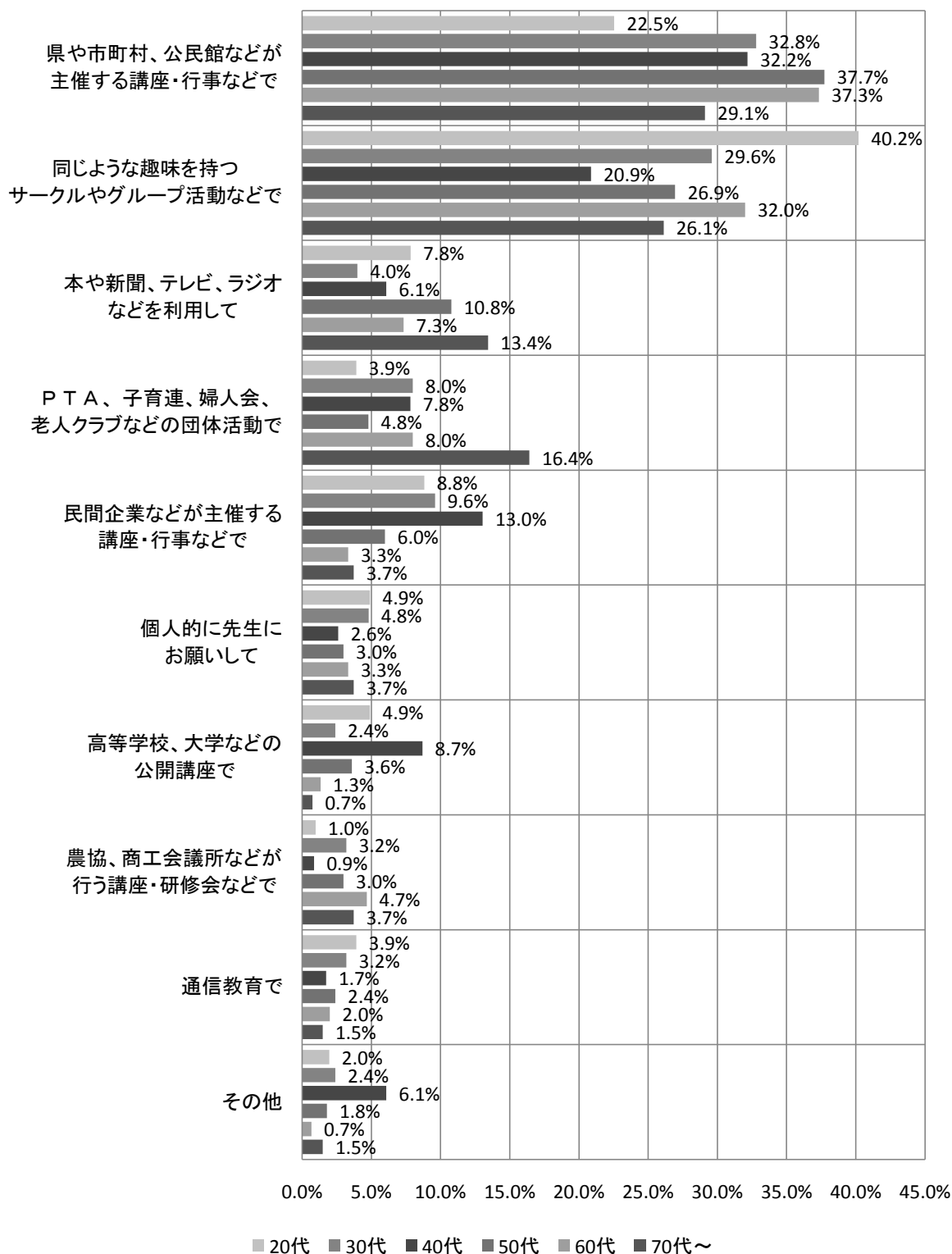
全体として、「教養、芸術、趣味、おけいごとに関すること」が2割強、「スポーツ・レクリエーション・レジャーに関すること」が2割強と高い割合です。次いで、「家庭生活に必要な知識・技能に関するもの」が2割弱、「職業についての知識・技術に関すること」が1割強となっています。男女別に見ると、「スポーツ・レクリエーション・レジャーに関すること」が男性で3割弱、女性で2割弱、「家庭生活に必要な知識・技能に関するもの」では、男性が1割強、女性が2割強、「職業についての知識・技術に関すること」は男性で2割弱、女性で約1割、「ボランティアに関すること」では、共に1割にはなりませんが、女性の方が多く、男女に差があります。

質問16 あなたは、今後どのような方法で学習や文化・スポーツ活動をしたいと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

今後の生涯学習活動の方法(全体、男女別)



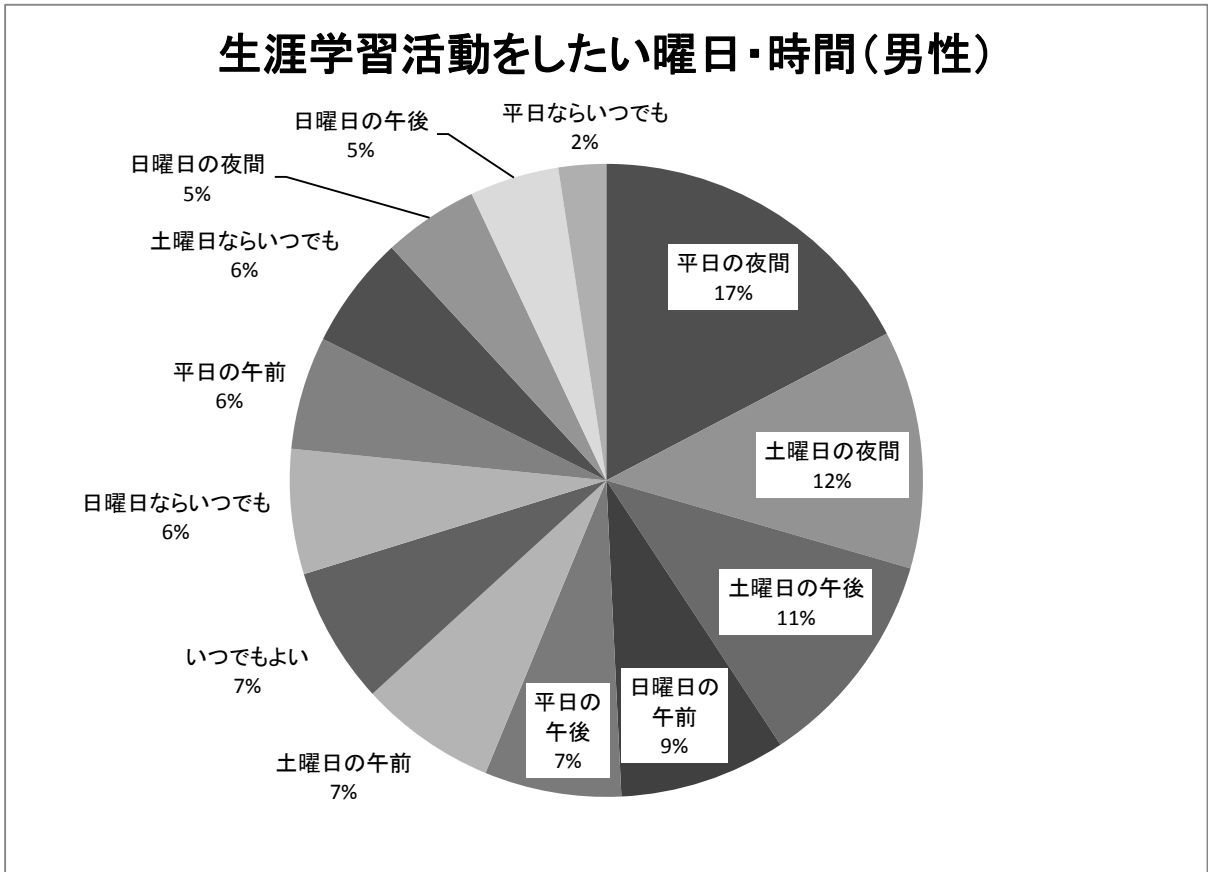
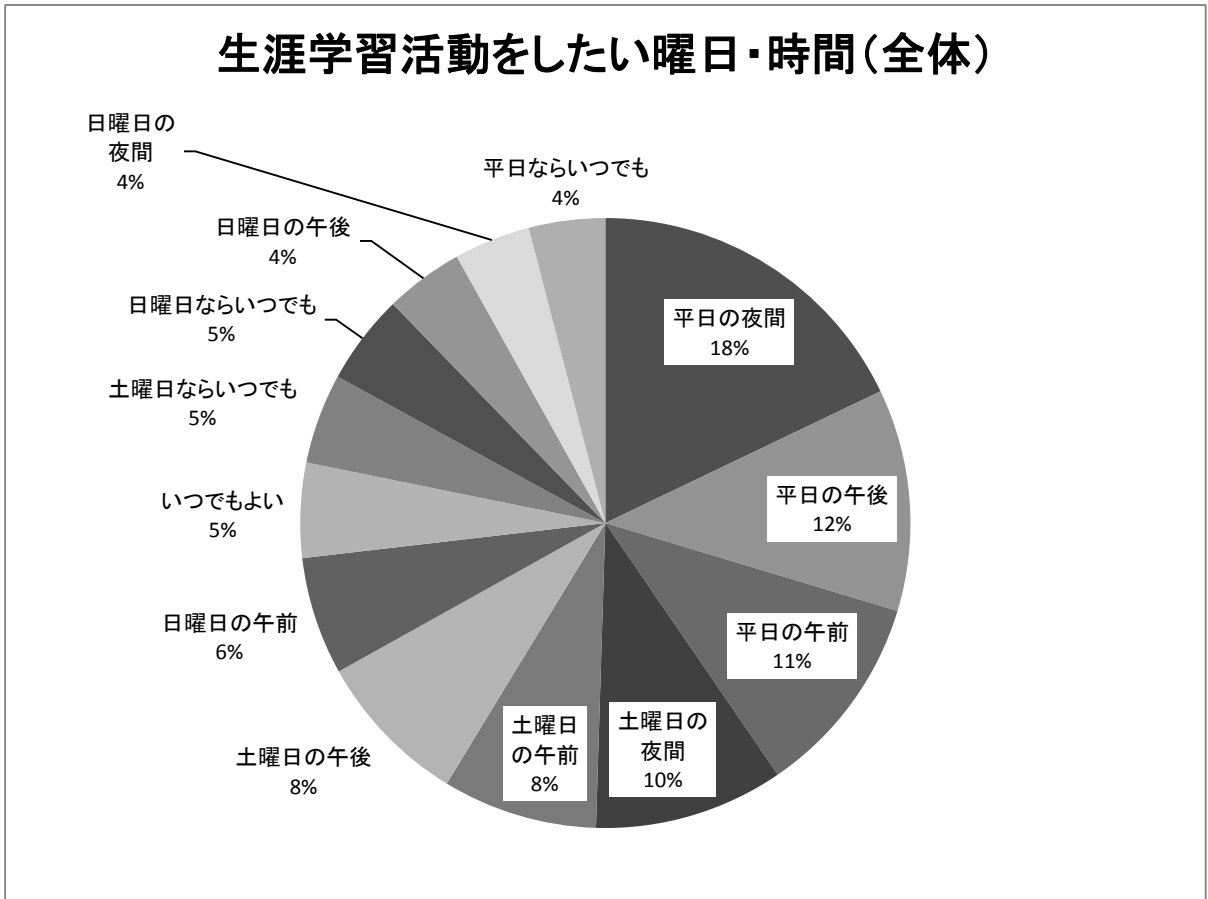
今後の生涯学習活動の方法(年代別)



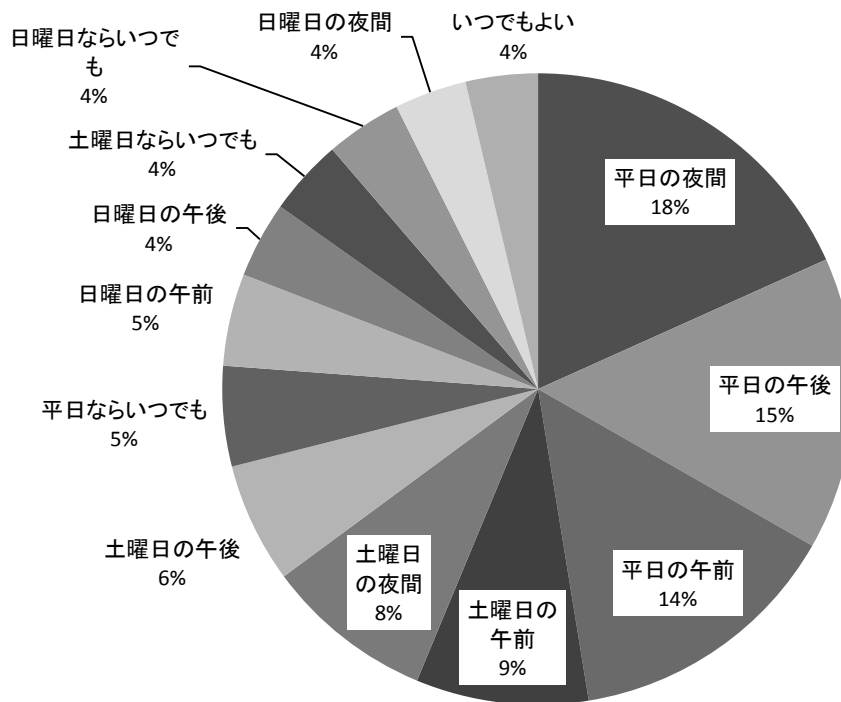
全体として、「県や市町村、公民館などが主催する講座・行事などで」が3割強、「同じような趣味を持つサークルやグループ活動などで」が約3割と他に比べて高い割合になっています。年代別に見ると、20代は、「同じような趣味を持つサークルやグループ活動などで」が約4割とたいへん高いです。70代は、「老人クラブなどの団体活動で」が2割弱、「本や新聞、テレビ、ラジオなどを利用して」が1割強と他に比べて多くなっています。また、40代については、「民間企業などが主催する講座・行事などで」が1割強、「高校、大学などの公開講座で」が1割弱と他よりも多くなっているのが特徴的です。

(3) 今後の生涯学習活動をする希望の曜日と時間

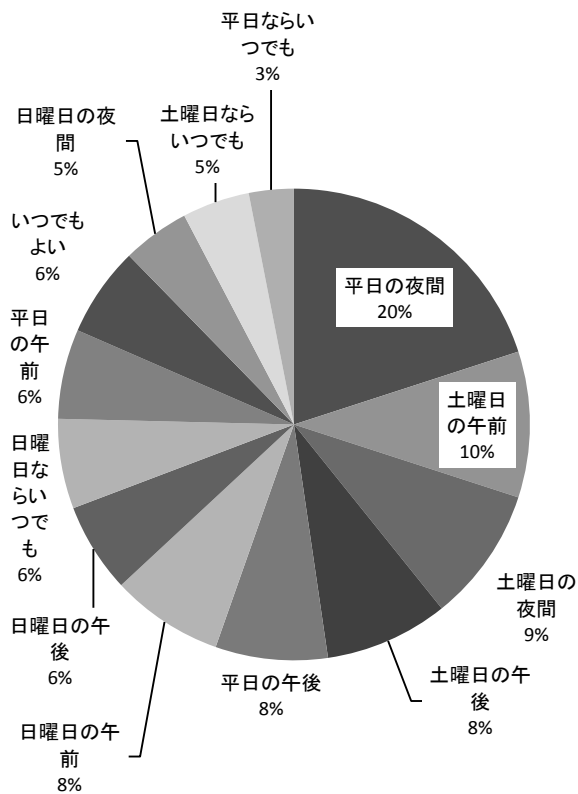
質問17 あなたが、今後とも学習や活動を続けていくとしたら、その曜日と時間はいつを希望しますか。次の中から都合のよい順に、3つまで選んでください。



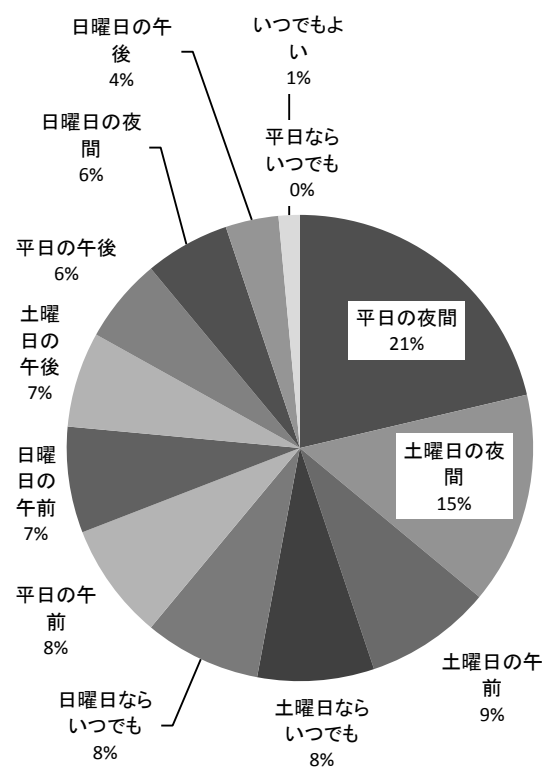
生涯学習活動をしたい曜日・時間(女性)

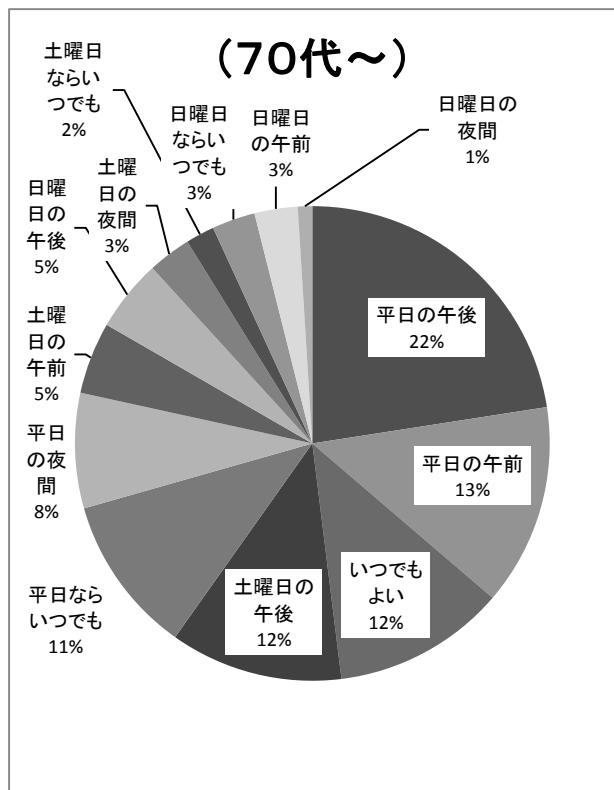
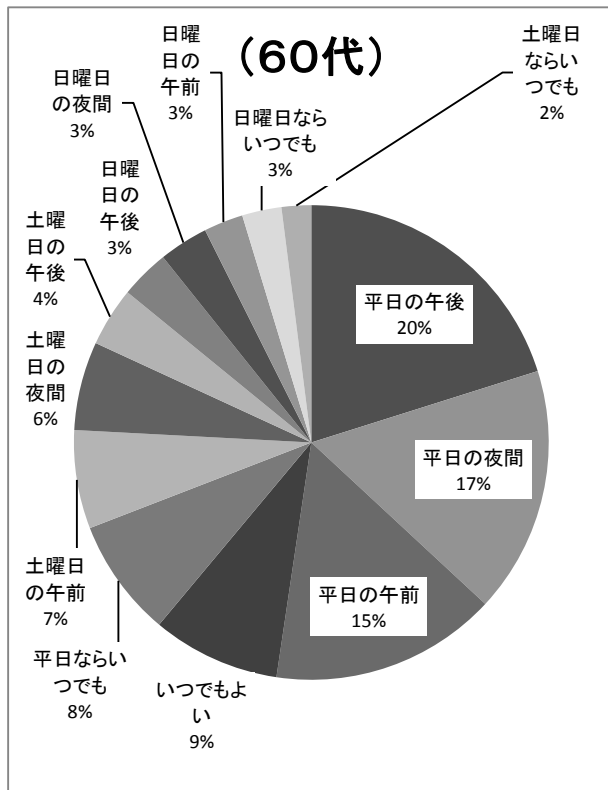
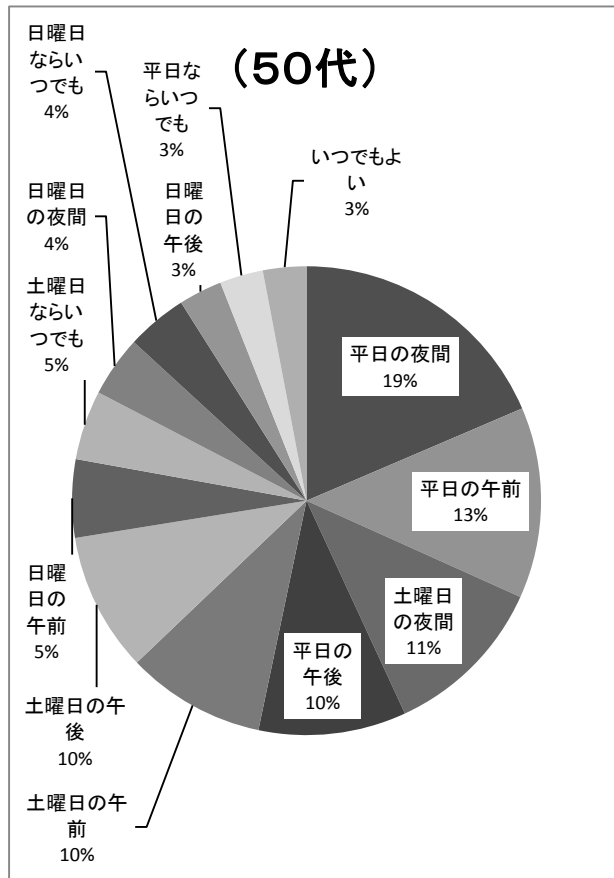
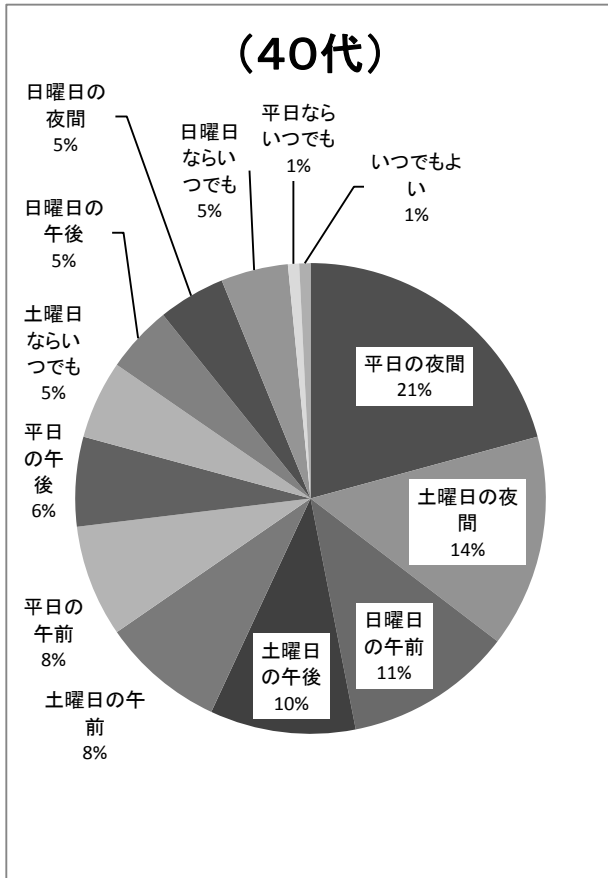


(20代)



(30代)



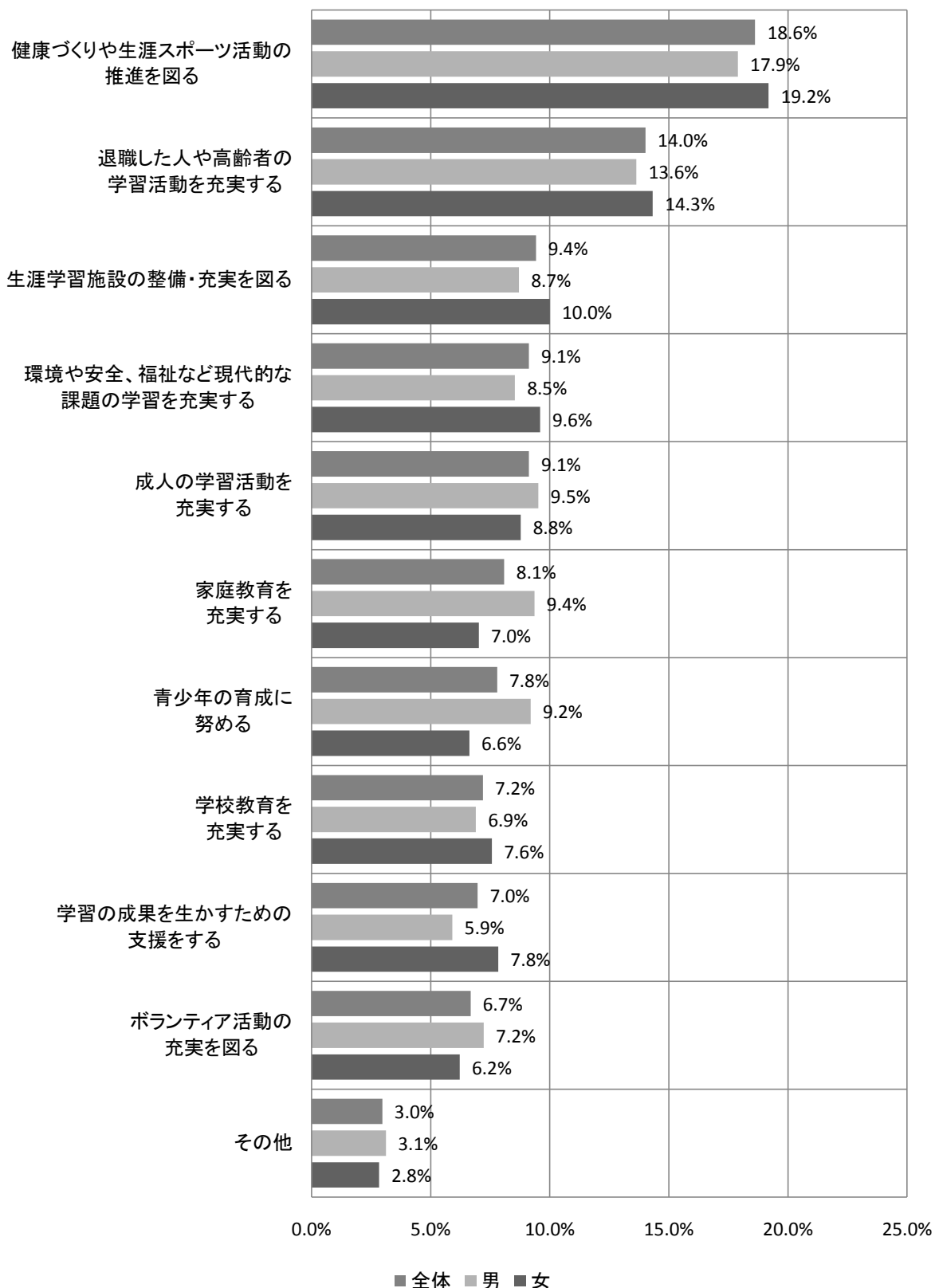


全体として、「平日の夜間」が2割弱と最も多く、次いで「平日の午後」1割強、「平日の午前」の1割強、「土曜日の夜間」の1割、「土曜日の午前」の1割弱と続いています。男女別では、「平日の夜間」以外では、男性は「土曜日の夜間」、「土曜日の午後」、「日曜日の午前」と続きますが、女性は、「平日の夜間」以外では、「平日の午後」、「平日の午前」、「土曜日の午前」と続きます。年代別では、20代から50代までは、「平日の夜間」が最も多く、「土曜日の夜間」や「土曜日・日曜日の昼間」等が続きます。60代、70代以上では、「平日の午後」が最も多く、「平日の夜間」や「平日の午前」が続きます。また、60代、70代以上は、「いつでもよい」や「平日にらいつてもよい」等の割合が高くなっています。

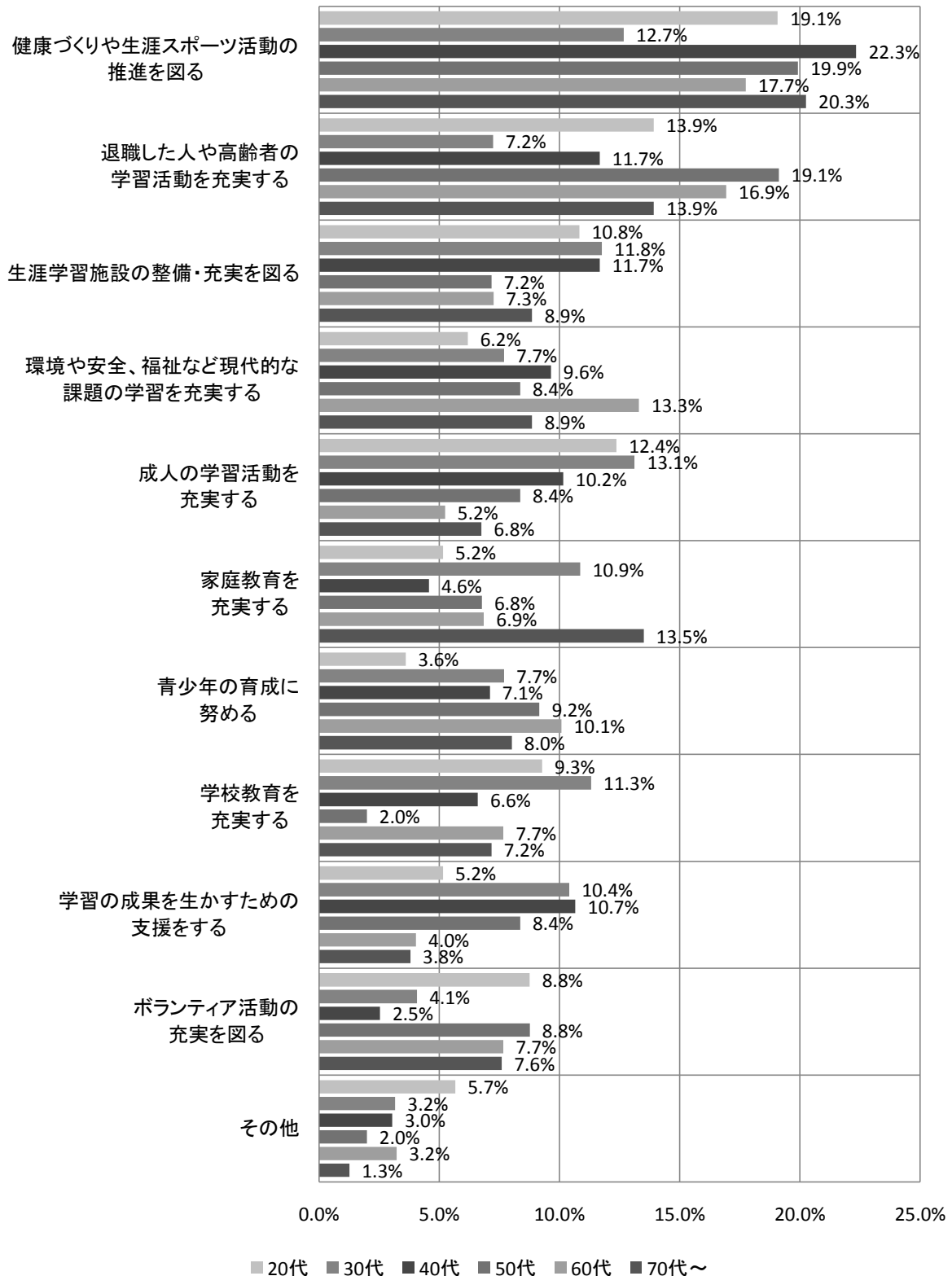
6 生涯学習活動が活発になるための手段

質問18 あなたは、どうすれば富岡市の生涯学習活動が、より活発になると思いますか。次の中からあなたの考えに近いものを3つまで選んでください。

生涯学習活動が活発になるために (全体、男女別)



生涯学習活動が活発になるために(年代別)



全体として、「健康づくりや生涯スポーツ活動の推進を図る」が2割弱、「退職した人や高齢者の学習活動を充実する」が1割強と多く、次いで、「生涯学習施設の整備・充実を図る」が1割弱、「環境や安全、福祉など、現代的な課題の学習を充実する」が1割弱、「成人の学習活動を充実する」が同じく1割弱となっています。年代別に見ると、30代が、「家庭教育や学校教育の充実」を重視していることや、20代、40代は、「健康づくりや生涯スポーツ活動の推進を図ること」を重視していることが、特徴的です。

7 生涯学習に関する意見・要望・悩み等(自由記述・一部掲載)

(1) 行政の取り組みに関して

- ・生涯学習に関する情報提供・広報活動をしっかりしてほしい。また、市民にわかりやすいように工夫してほしい。(イベントや講座等の日時、内容、特色等)
- ・どういう内容で、いつ行われるかなど、もっと目につく所に設置、明記してもらいたい。(広報だけではなく、内容によってはスーパーや本屋に掲示、ラジオ、回覧板など)
- ・子供からお年寄りまで、みんなが参加しやすいような場や機会、内容等を工夫してほしい。
- ・子育てをしながらだと時間に制限がある、託児があると参加しやすい。
- ・イベントや講座など、運営から市民が参加できるような企画を作してほしい。

(2) 公民館、社会教育施設等の講座・教室・事業等に関して

- ・小さな行事は情報がなかなか届かないことがよくある。公民館などに行くと昨日こういう行事があったと聞くことがあるが、ほとんどの人に伝わっていない。公民館活動のPRをしっかりとやってほしい。
- ・各公民館の利用の充実を図ってほしい。(気軽に誰でも利用ができる。休日の講座の開設。気軽に参加できる講座の開設等)
- ・色々な時間や日時に多種多様な講座、学習活動等を行ってください。
- ・学校教育に非協力的な親(モンスターペアレンツ)をなくすために親向けの講座を開設してほしい。
- ・高校中退の子どもたちのために、資格の取れる講座を考えてほしいです。
- ・子ども達への教育に力を入れた方が良くと思う。この取り組みにより学校の授業についていけない子どもが減り、非行にはしる子供が減ると思う。また、子供が親や教師以外の人と触れ合う機会も増え、子供に良い影響を与えられる。
- ・年齢や職業に関係なく、いろいろな人と交流できる場があったらいいと思います。
- ・富岡でしかできないこと、学べないことがあると思うので地域の特色を生かしながら魅力のある講座や行事をぜひ開催してほしいです。
- ・地域の小単位(集落)で研修会等できるとよい。先進的な地区のようすをPRする。
- ・学習した経験や成果を次に発展させ、支援や相談にのり、地域にやりがい、生きがいが見つけられるような取り組みがほしい。
- ・20代~40代の参加促進が最も大きな課題であると思います。生涯学習は文字通り生涯にわたる学びの場ですし、働きざかりの社会人や、これから多くを学び社会を担っていく大学生などの参加は不可欠だと考えます。大学や企業との連携学習、イベント等を行ってみてはどうでしょうか？
- ・退職した人たちが活躍できる講座等を工夫してください。
- ・引きこもりがちの高齢者に集まってもらい、できることなどをしていったらよいと思う。(会話、話し合い、歌、ゲーム)
- ・足腰の弱くなった人には、話し合いをする人を訪問させる。
- ・地域によっては高齢者の数が急増しているところがあり若い人がいない場合の対応が遅れている。役員のみ大変な活動より、高齢者を抱えることになる家族の人向けの講座や学習活動を教えていただき、学びたい。
- ・1~3か月に一度、小学校区対抗のスポーツ大会(グランドゴルフ等)を開催
- ・スポーツを推進し、コミュニケーションをとり人とのふれあいが大切。空手やバスケ、ハンドの大会など。
- ・受講したい講座があっても年齢制限(35歳までとか)や時間制限(平日夜間のみなど)があり、出来なかったことがしばしばあります。また、受講出来る条件のものがあっても人気があり、すぐ募集を締め切ってしまうと受けられない事もありました。一考をお願いいたします。
- ・講座に参加している人は一人月500円くらい施設利用料を負担してもいいと思う。
- ・自主グループの活動に関して、市の援助を希望いたします。

(3) 施設設備に関して

- ・身体、知的、精神などの障害を持つ人たちが利用できる施設に力を入れてもらいたい。
- ・生涯学習は、幼児期からの経験(積み重ね)がその後の発展につながっていくものと思います。子供達の学習環境の整備・充実を希望致します。
- ・フリースペースで自由に活動するサロンを作ってほしい。
- ・高齢者や乳幼児が楽しく活動できる場を作る必要がある。
- ・老人たちの健康増進やコミュニケーションの場となるような施設を増やしてほしい。
- ・北部運動公園に室内プールがほしい。
- ・市民ゴルフ場など、安く気軽に使える施設、安全に子供が遊べる施設がほしい。
- ・公民館、文化ホール、生涯学習センターに催しがあっても高齢者は乗り物が少なく困る。乗合タクシーが数多く運行される事を希望。
- ・交通の便が悪いところへの集客を一考する。
- ・図書館の蔵書が少なすぎます。もう少し増やしてください。
- ・市立図書館への要望として、新刊本の充実を希望します。有料であっても新刊が多い方が良い。

(4) 市民の生涯学習活動への意識に関して

- ・育児が落ち着いたらぜひ参加したい。保育園の子育て支援はとても助かる。
- ・心身ともに健康になるような生涯学習を皆で考えて、参加したい。今やりたいと思っているのは、ゴスペル、合唱。
- ・単身赴任で参加が難しいが、興味はあるのでスポーツは参加してみたい。
- ・グループで楽しみたいと思い活動していますが、人数が少なくて先生への謝礼が不足しがちです。多くの市民の人々に活動の存在を知ってもらい、会員を増やしたいです。
- ・仕事や家事に追われ、なかなか心の余裕が持てない方は多くいらっしゃると思います。一人暮らしのお年寄りや身体が少し不自由で一人では行動できない方を中心に元気な子どもや大人達が共に遊べる場所と機会があればと思います。
- ・女性は、何かと出る機会が多く、友達も作ることができ、いろいろな学習をすることができます。男性も、もっと気軽に学習できる場所があったら良いと思います。
- ・行事に参加しても他人に気を使い、それがストレスとなり足が遠のいてしまう。
- ・何かしたいがグループが見つけれられない。資金不足で活動できない。講座当日に自由に参加できるような方法(工夫)があればいい。

Ⅲ まとめと今後の課題

本市では、平成4年、10年、16年に生涯学習について市民意識調査を実施しています。市民意識調査の結果を基に、様々な生涯学習推進に係る諸施策を展開してきました。現在、生涯学習奨励員制度、生涯学習出前講座やとみおか市民大学校、達人バンクの実施、生涯学習都市の宣言など、様々な取り組みを行っています。

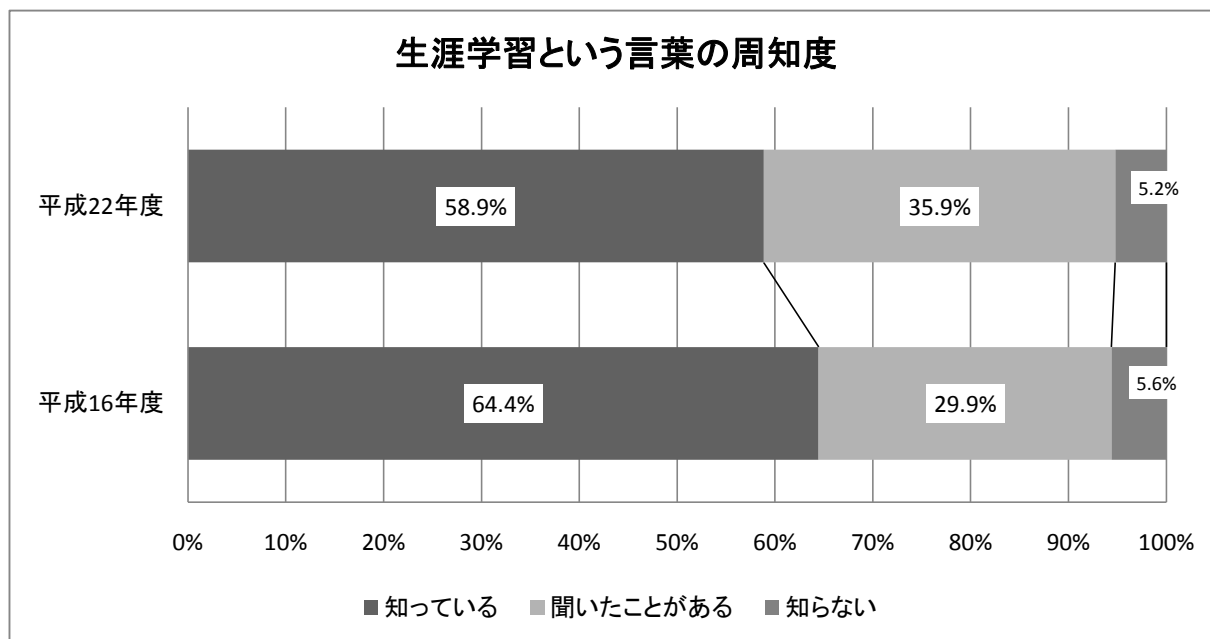
今回の調査は、前回の調査から6年が経過し、これまでの生涯学習推進の成果と、市民の生涯学習への意識及び要望をとらえ、今後の生涯学習推進の基礎資料を得るために、実施したものです。

そこで、平成16年実施の調査結果と今回の調査内容の一部について比較し、考察することとしました。

1 回収状況

前回は、回収率が約4割でしたが、今回は約5割とアップしました。性別回収割合は、前回は男性が4割、女性が6割と、たいへん差がありましたが、今回は、男性5割弱、女性5割強と差が縮まりました。年齢別回収割合は、前回と大きな差はありませんが、年齢が高くなるにつれて、回収割合は高くなっています。居住地区別回収率は、ほぼ平均していますが、中には回収率がたいへん高い地区もありました。

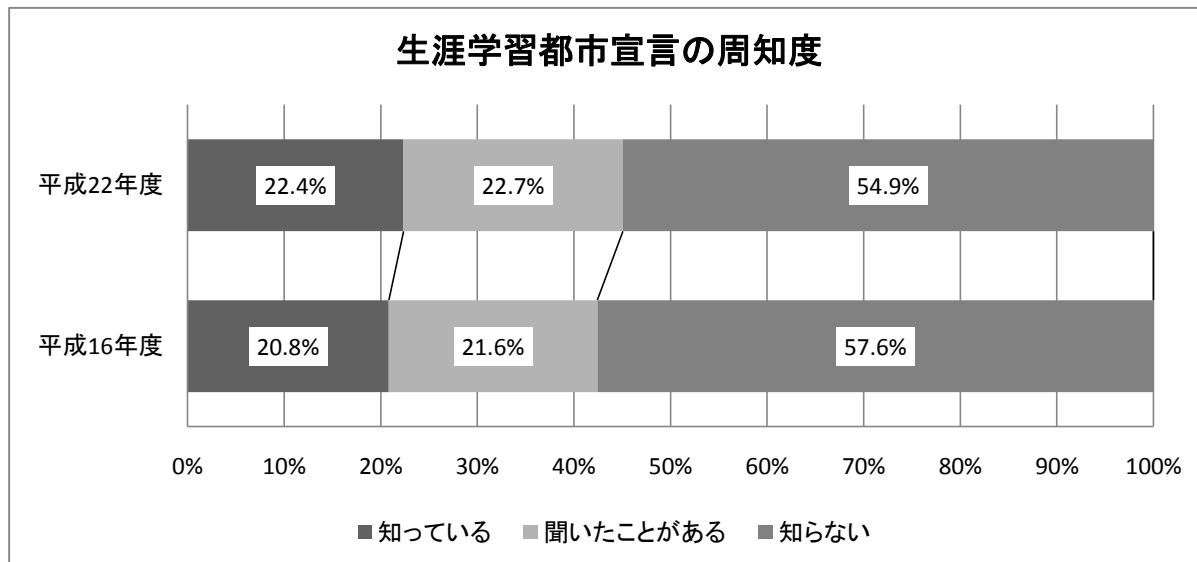
2 生涯学習という言葉の周知度、理解度



生涯学習という言葉は、一般的に使用されており、生涯学習センター等の名称にも使われているように、広く市民に浸透しています。「知っている」「聞いたことがある」を含めて9割強の人が生涯学習という言葉を意識しています。生涯学習という言葉の理解度は、平成16年の調査と選択肢が違うので、一概に比較できませんが、6割弱の人が正しく理解しています。家庭教育や学校教育、社会教育をすべて含むものが生涯学習です。どの年代でも、「学ぶ」ことの楽しさ、大切さを味わう努力、味わってもらう努力をしていくことが大切です。

2 本市の生涯学習事業の取り組みについて

(1)生涯学習都市宣言の周知度



本市では、平成19年4月1日に 生涯学習都市を宣言しました。様々な機会や場所をとらえて、生涯学習都市宣言文を掲載したり、事業において朗読したりしています。しかし、平成16年に比べて、全体の周知度は上がったものの、20代、30代の周知度はかなり低いです。本市が生涯学習推進に取り組んでいることをもっとアピールするとともに、様々な事業に工夫して取り組んでいくことが大事です。

(2)市民憲章の周知度

市民憲章は平成21年4月に制定し、広報等で広く市民に周知してきました。各公民館の市民憲章碑も新しくしました。しかし、市民憲章は全体で約半分の人が「知らない」と答えています。特に、20代、30代の若い世代の人たちの周知度が低いので、今後、より広める工夫をしていかななくてはなりません。

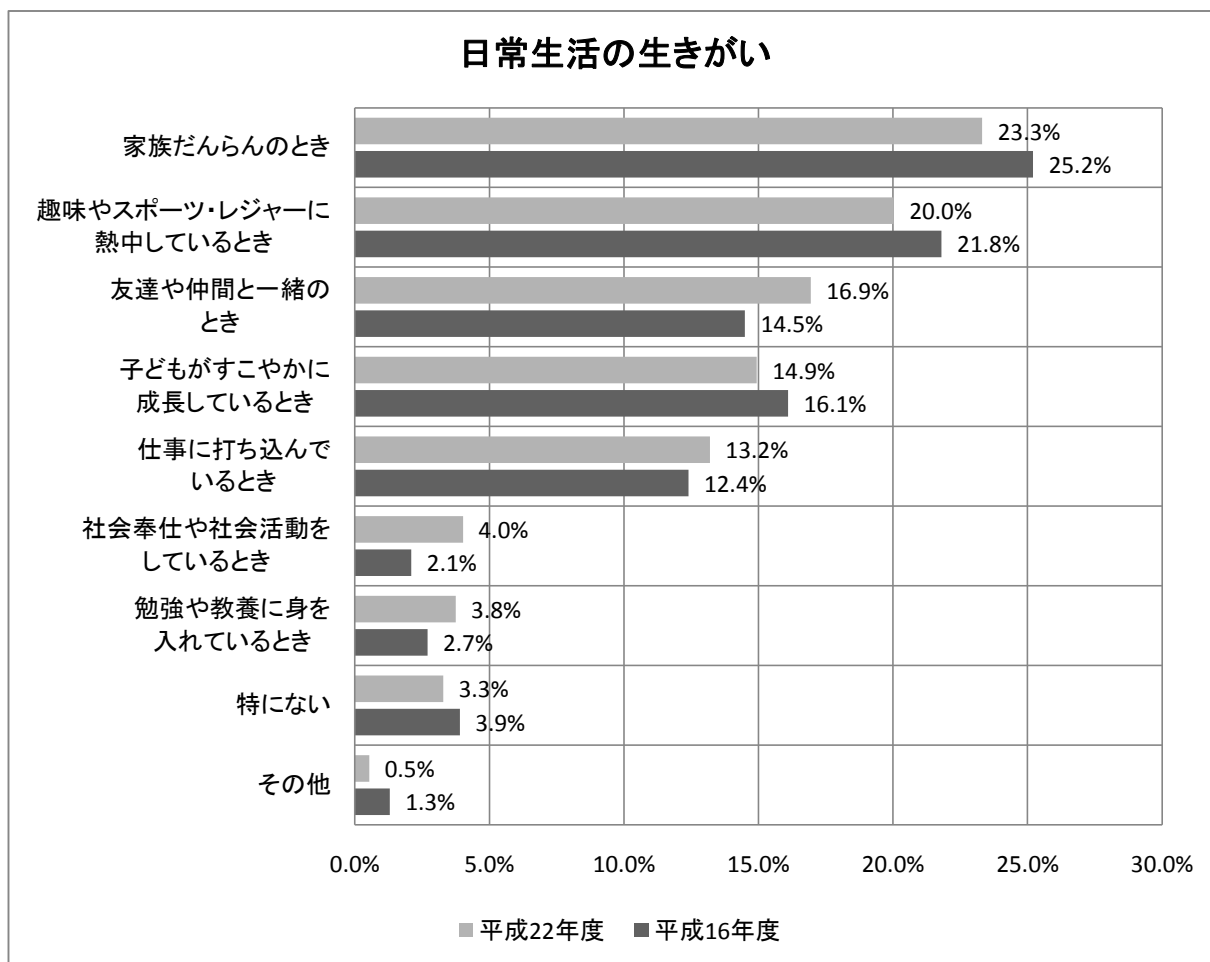
(3)生涯学習事業の周知度

本市で実施している生涯学習を推進するための5事業に関する市民の周知度は、かなり低いです。「知らない」と答えている人は、どの事業も6割を超えています。達人バンクについては、8割の人が「知らない」と答えています。とみおか市民大学校、出前講座、達人バンクは、市民の生涯学習を応援するための本市の特色ある事業です。だれもが利用しやすく、生涯学習を進めていけるように、しっかりアピールし、運営を工夫していくことが大切です。

(4)生涯学習奨励員の周知度

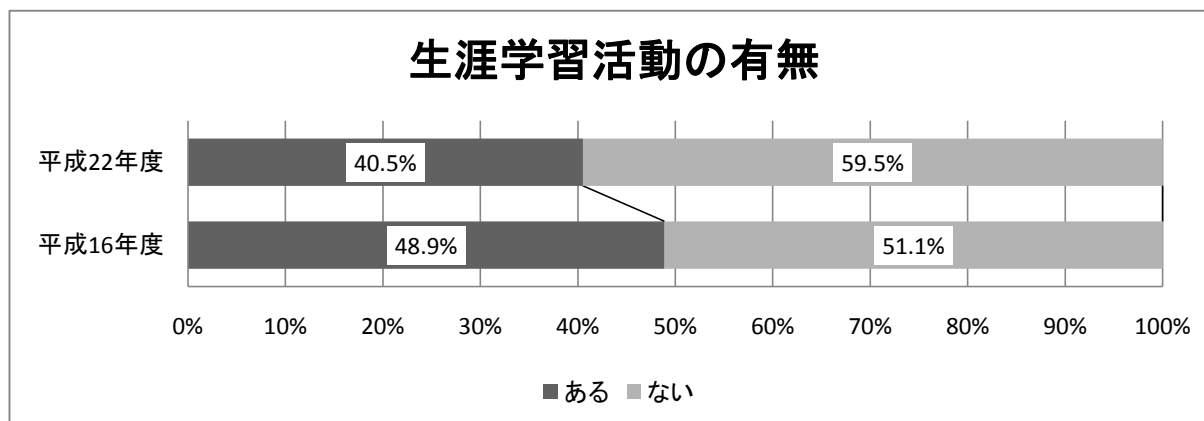
生涯学習奨励員の制度は、平成8年にできました。奨励員は、地域の生涯学習を進めていくために、行政区に一人配置されています。奨励員について知らない人は、全体で8割で、特に20代、30代は、ほとんどの人が知らないと答えています。生涯学習奨励員は、地域の人々と深く関わり、生涯学習を進める世話役とならなければなりません。今後は、奨励員がより主体的で、住民に見える活動を目指していく必要があります。

3 日常生活における生きがい



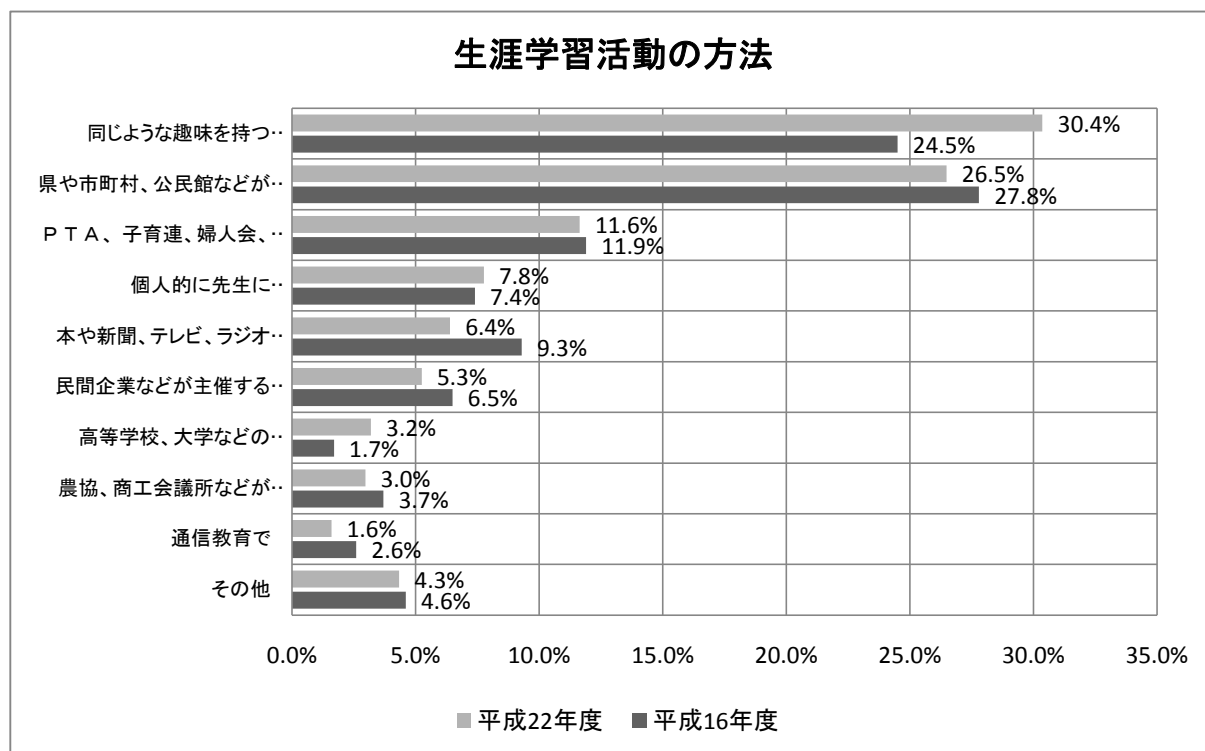
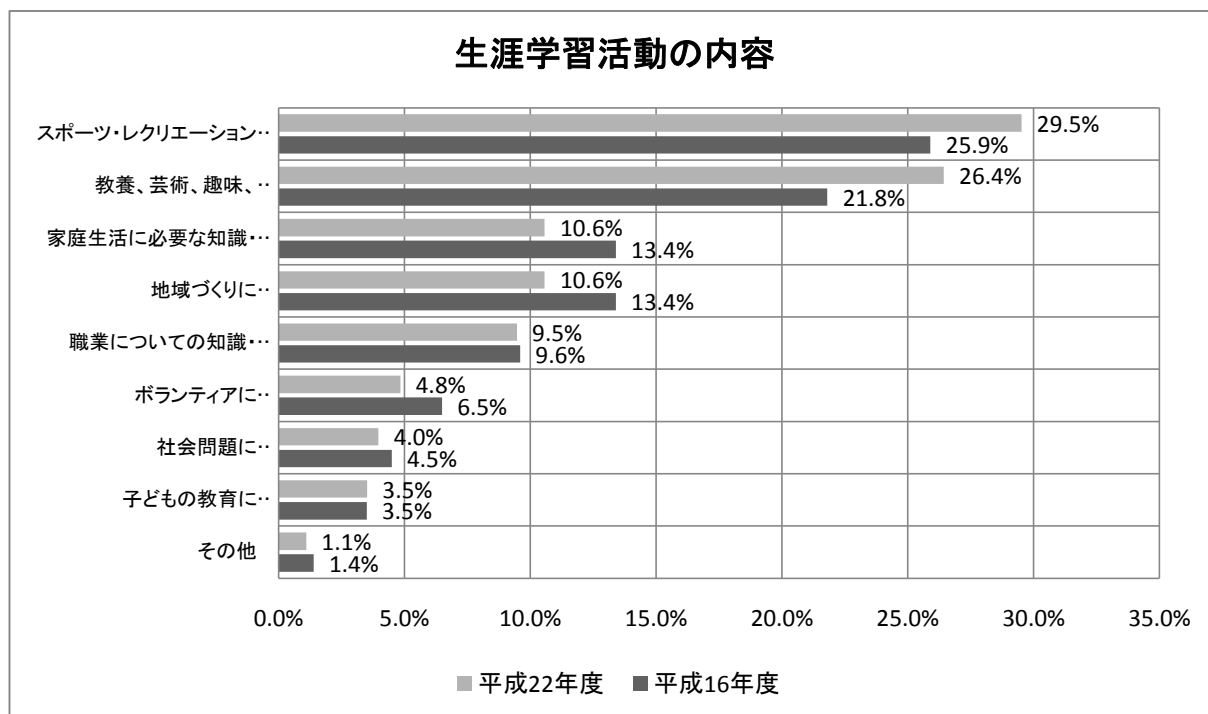
日常生活における生きがいは、前回の調査と同様、「家族だんらのとき」が最も高いです。家庭が円満で、楽しく安心して過ごせる家族だんらなを、だれもが願っている様子がうかがえます。自分の趣味やスポーツに情熱を注ぎ、仲間とふれ合うことは、わたしたちの生きがいと言えます。

4 生涯学習活動について (1)生涯学習活動の有無



前回調査に比べ、この1年間に学習や文化・スポーツ活動をしたことがある人は、1割近く減っています。どの年代においても、6割前後の人が学習や文化・スポーツ活動をしていないと答えています。学び続けること、体を動かし続けることはわたしたちに幸せをもたらしてくれるものです。だれもが興味を持って生涯学習活動に参加できるように、人々のニーズをしっかりとらえ、学習やスポーツの機会を提供していくことが大切です。

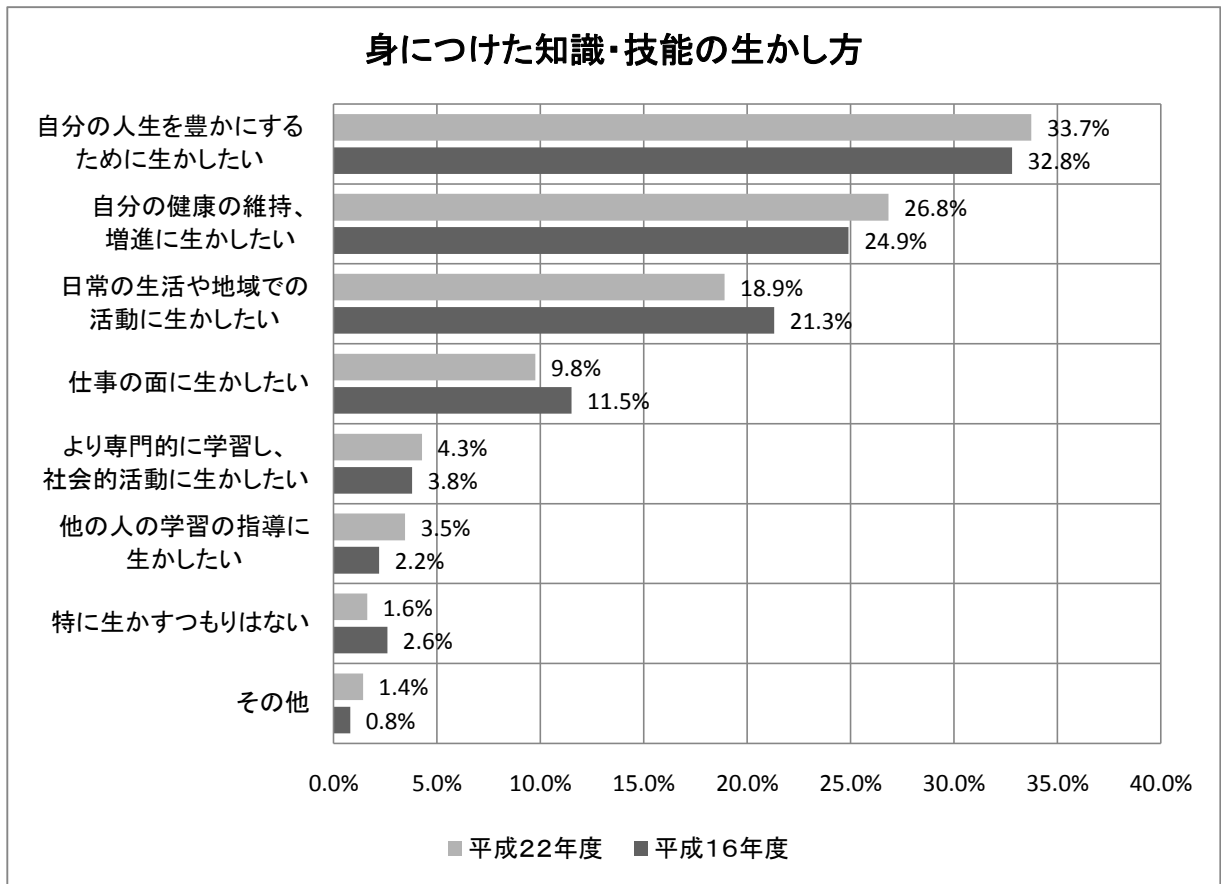
(2)生涯学習活動の内容と方法



生涯学習活動の内容については、前回調査の結果と比較してみると、「スポーツ・レクリエーション・レジャーに関すること」、「教養、芸術、趣味、おけいごに関すること」が、前回より5ポイント近く伸びています。反対に、「家庭生活に必要な知識・技能に関するもの」、「地域づくりに関すること」「ボランティアに関すること」の割合が少なくなっています。趣味やスポーツなど、自分自身の楽しみを追求する割合が高いですが、地域づくりやボランティアに関することなどにより興味を持って社会参加できるような工夫や努力をしていく必要があります。

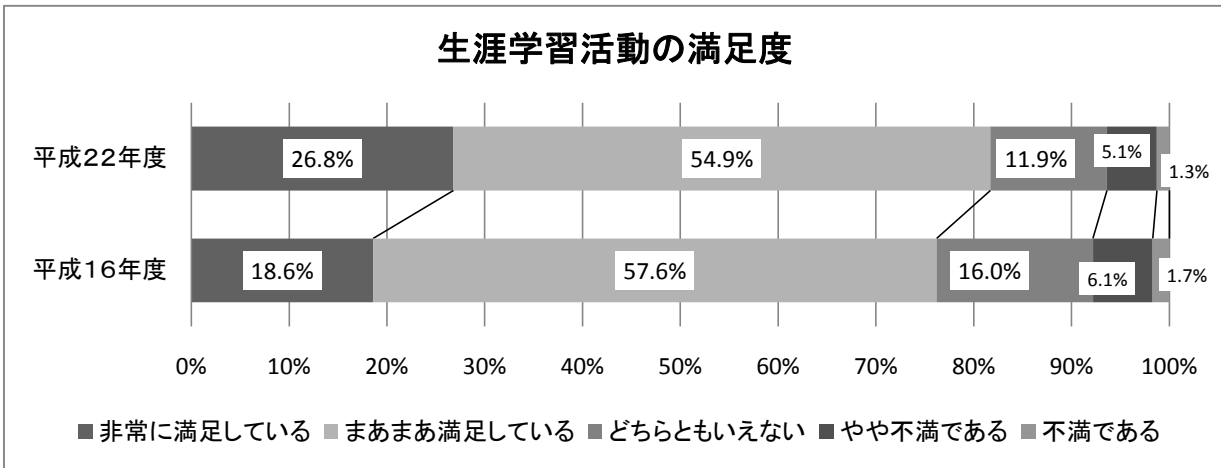
生涯学習活動の方法については、「同じような趣味を持つサークルやグループ活動などで」が多く、前回調査よりも増えています。また、「県や市町村、公民館などが主催する講座・行事などで」が相変わらず多いです。公民館のような自分たちの身近な場所で、気が置けない仲間と生涯学習を楽しみたいと考える人がたいへん多いことがわかります。公民館や生涯学習施設での講座や教室の内容や持ち方を考える上で、参考にすることが必要です。

(3)生涯学習活動で身につけた知識・技能の生かし方



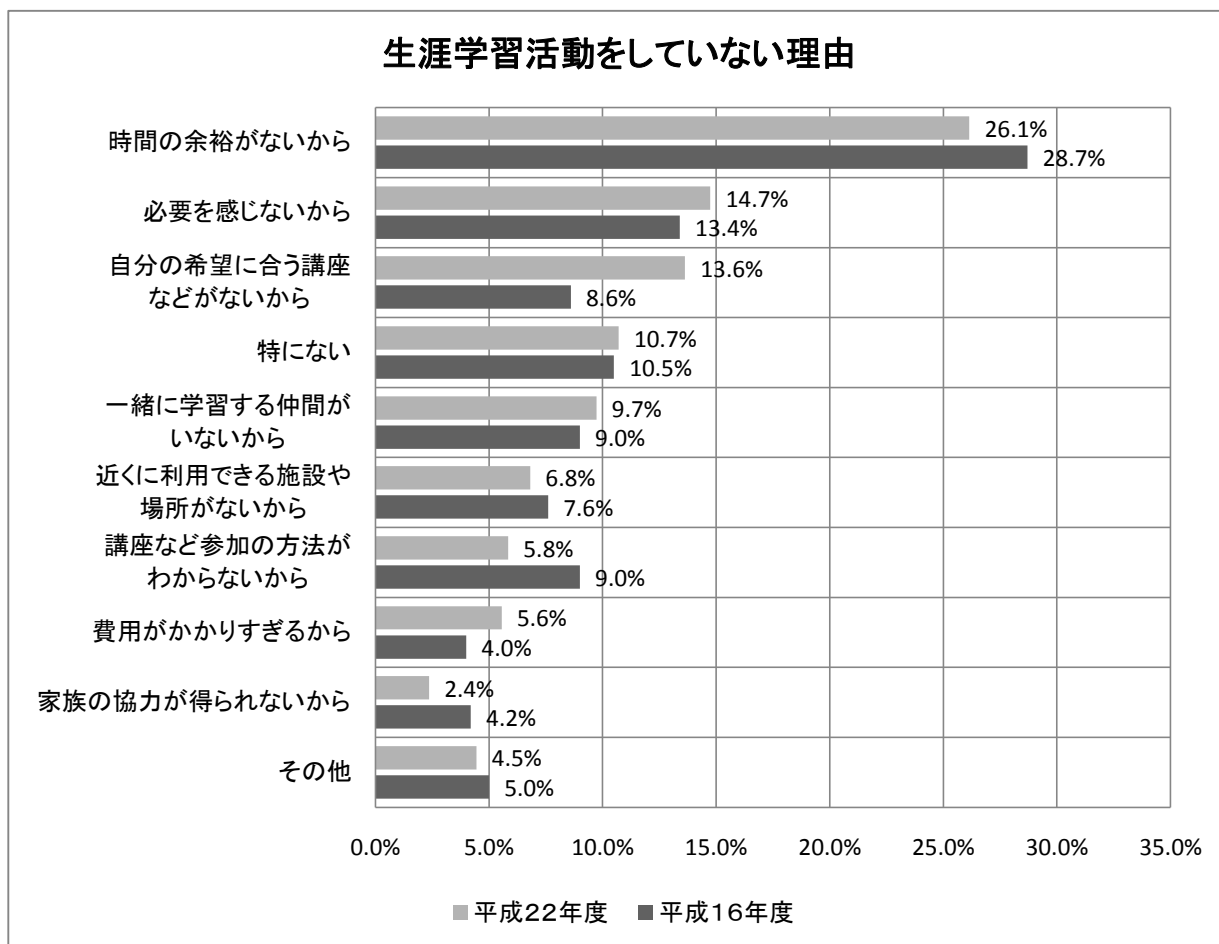
身につけた知識や技能の生かし方は、「人生を豊かにするため」や「健康の維持・増進」に生かしたいという割合がたいへん高いです。生涯学習のねらうところである「充実した豊かな人生を送るため」に生涯学習を進めているのは、とてもよいことだと思います。今後はさらに、地域社会の向上のためや他の人々の学習に役立つ活動を目指すような活動を援助していく必要があります。

(4)生涯学習活動の満足度



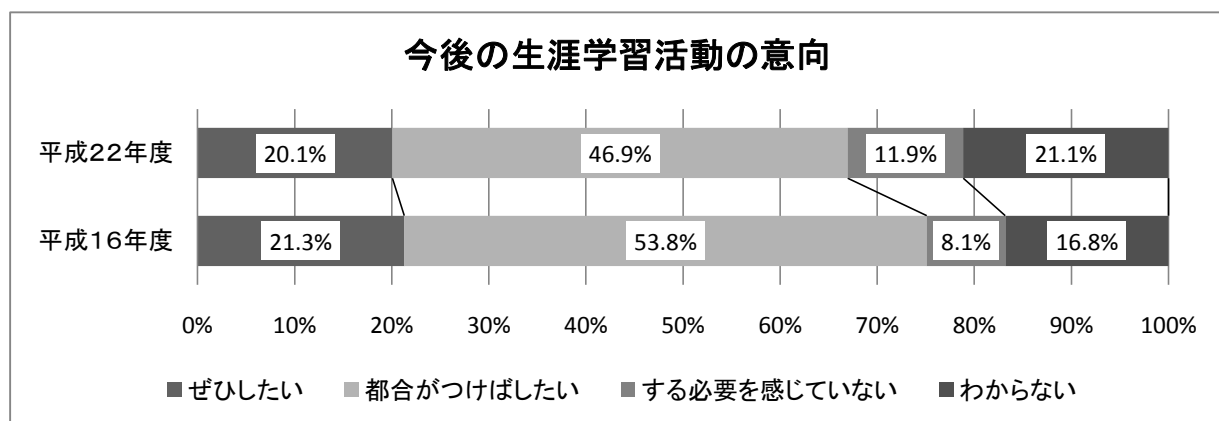
生涯学習活動の満足度は、前回調査に比べて、高くなっています。とくに非常に満足している割合がとて高くなっているのは、よいことです。しかし、1年間で生涯学習活動を行っている割合が低くなっていることから考えると、活動している人はより充実して満足していますが、参加者の割合が伸びていないと言えます。また、年代別に見て他に比べて40代の満足度が低くなっているのは、今後の取り組みの課題です。

(5)生涯学習活動をしていない理由



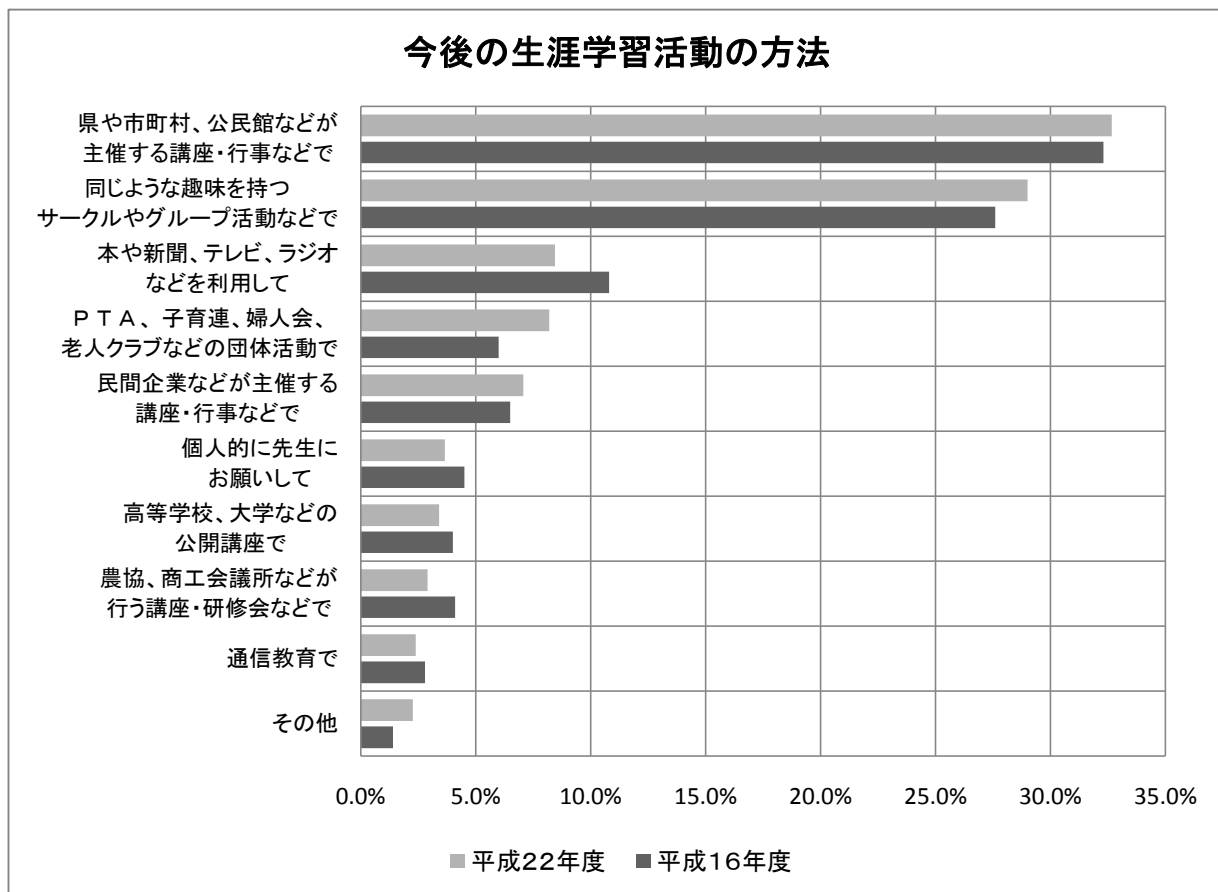
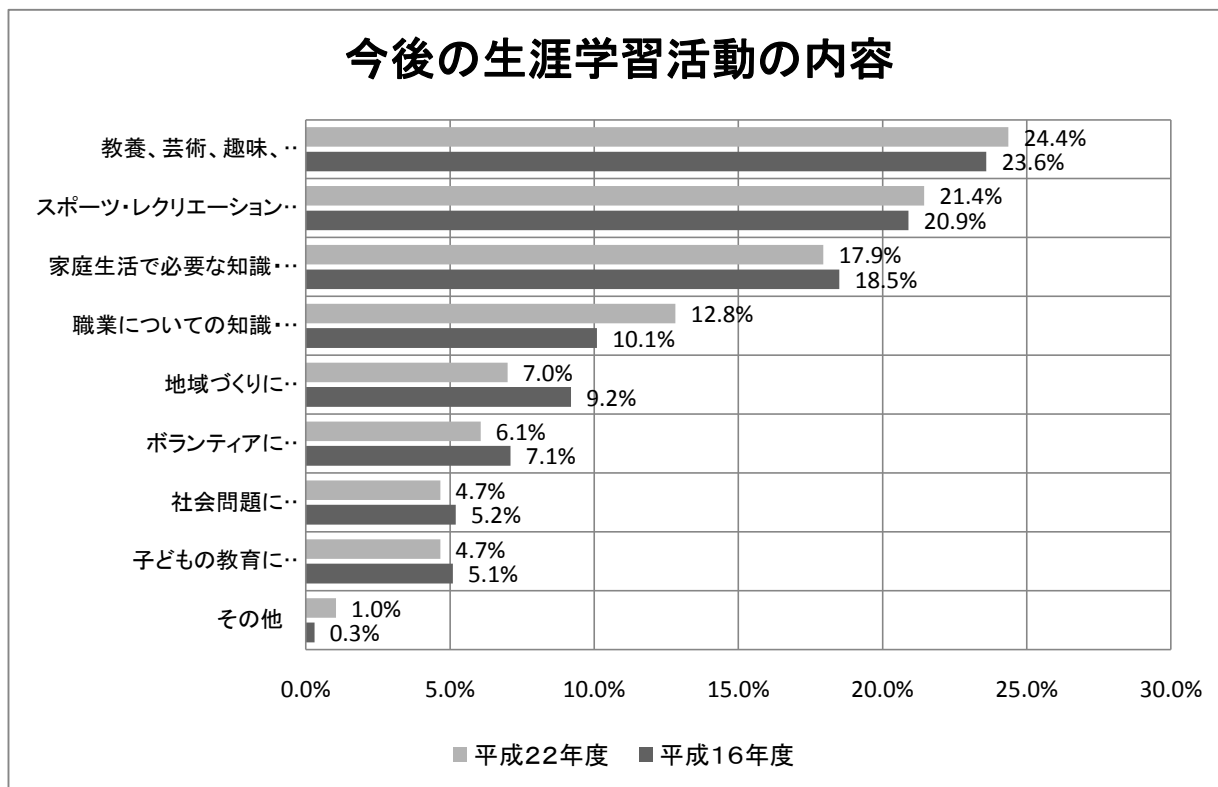
生涯学習活動をしていない理由は、前回同様、「時間の余裕がないから」がたいへん高いです。忙しい時代に、いかに生涯学習活動を活発にするか、大きな課題です。また、自分の希望に合う講座などがないと感じている人が増えています。市民のニーズにあった講座や教室を考えることが必要です。必要を感じない人が14.7%いるので、公民館等の生涯学習施設では、生涯にわたって学び続けることの喜び、充実感を感じられるような取り組みをしていくことが大切です。

5 今後の生涯学習活動について
(1)今後の生涯学習活動の意向



今後、生涯学習活動をしたいと考えている人は、前回の調査に比べて8割弱から7割弱と減っています。年代別で、40代が、忙しくてできないが、やりたい意欲を強く持っているので、時間や内容など生涯学習活動を工夫して提供したり応援したりすることが大切です。

(2) 今後の生涯学習活動の内容と方法



今後やりたい生涯学習の内容については、多い順に「教養、芸術、趣味、おけいごとに関すること」、「スポーツ・レクリエーション・レジャーに関すること」、「家庭生活に必要な知識・技能に関すること」、「職業についての知識・技術に関すること」となっており、前回の調査と同じような結果になっています。性別や年代別に生涯学習活動への意向に特徴があるので、公民館等の生涯学習施設で行う講座や教室など、市民のニーズをしっかりとらえ、考えていく必要があります。

(3) 今後の生涯学習活動をする希望の曜日と時間

生涯学習活動をしたい曜日・時間については、年代によって希望が異なっています。50代までは、「平日の夜間」が最も多く、60代、70代以上は、「平日の午後」や「平日の午前」が多くなってきます。働いている世代は「平日の夜間」や「土曜日・日曜日」にしたいと考えています。どの年代をターゲットに講座や教室を開催するのかということをよく考え、曜日や時間を設定する必要があります。

6 生涯学習活動が活発になるための手段

生涯学習活動が活発になるために、市民が考えていることは、「健康づくりや生涯スポーツ活動の推進を図ること」、「退職した人や高齢者の学習活動を充実すること」が多いです。年代によってもそれぞれ差があります。公民館等の生涯学習施設で行う生涯学習活動は、市民のニーズをとらえ、既存の活動を行う場合でもより工夫したりして、生涯学習が推進されるような事業を積極的に展開していくことが大切です。

7 生涯学習に関する意見・要望・悩み等

多くの市民の方から、様々なご意見、ご要望等が寄せられました。

市や公民館等の生涯学習施設から市民への生涯学習情報の提供、広報活動についてのご意見・ご要望はたいへん多かったです。どのような内容のものがいつ、どこで行われるのか、広報とみおみや公民館報はもちろん、市のホームページ、ちらし、店舗での掲示、回覧板など様々な工夫ができると思います。生涯学習情報は、無駄に思えても提供しなければ伝わりません。市民にとって必要な情報を容易に入手できるような努力をする必要があります。

また、事業については、毎年同じことを繰り返しているだけでは、マンネリ化して魅力のないものになってしまいます。常に市民のニーズをとらえ、性別や年代に応じ、内容や実施する曜日・時間等を工夫した講座や事業等にしていくことが大切です。

施設・設備に関しては、様々な年代の市民が楽しく充実した活動ができるように、行政として、利用する市民として、何ができるのかしっかり考えていく必要があります。

今後、市民の生涯学習に対する意識が向上していくためには、様々な機関・施設や人々が協力し合い、よりよい生涯学習の推進が図られていくことが必要です。

私たちは、常に市民の考えを聞き、関係機関と連携・協力し、本市の生涯学習の向上を図り、魅力と活力ある富岡市を目指して、取り組みを進めていきたいと思っております。